

琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）の見直しについて

琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）については、計画開始から5年を目途に見直すこととされていることから、令和6年度から令和7年度にかけて見直し作業を行い、令和8年3月に策定・公表する予定。

1 琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）の概要

（1）琵琶湖森林づくり基本計画の位置づけ

琵琶湖森林づくり条例第9条と県産材利用促進条例第10条の規定に基づく計画（条例に示す理念を実効あるものとするための基本的な計画）。基本構想や部門計画と調和させるとともに、森林法に基づく地域森林計画とも整合を図る。

（2）計画期間

令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）（10年間）

- ・令和5年11月に「県産材利用促進条例」制定に伴う改正を実施
- ・計画策定から5年後の令和8年度に計画の見直しが必要
- ・戦略プロジェクト（5年間の数値目標）について、後半5年間の目標設定が必要

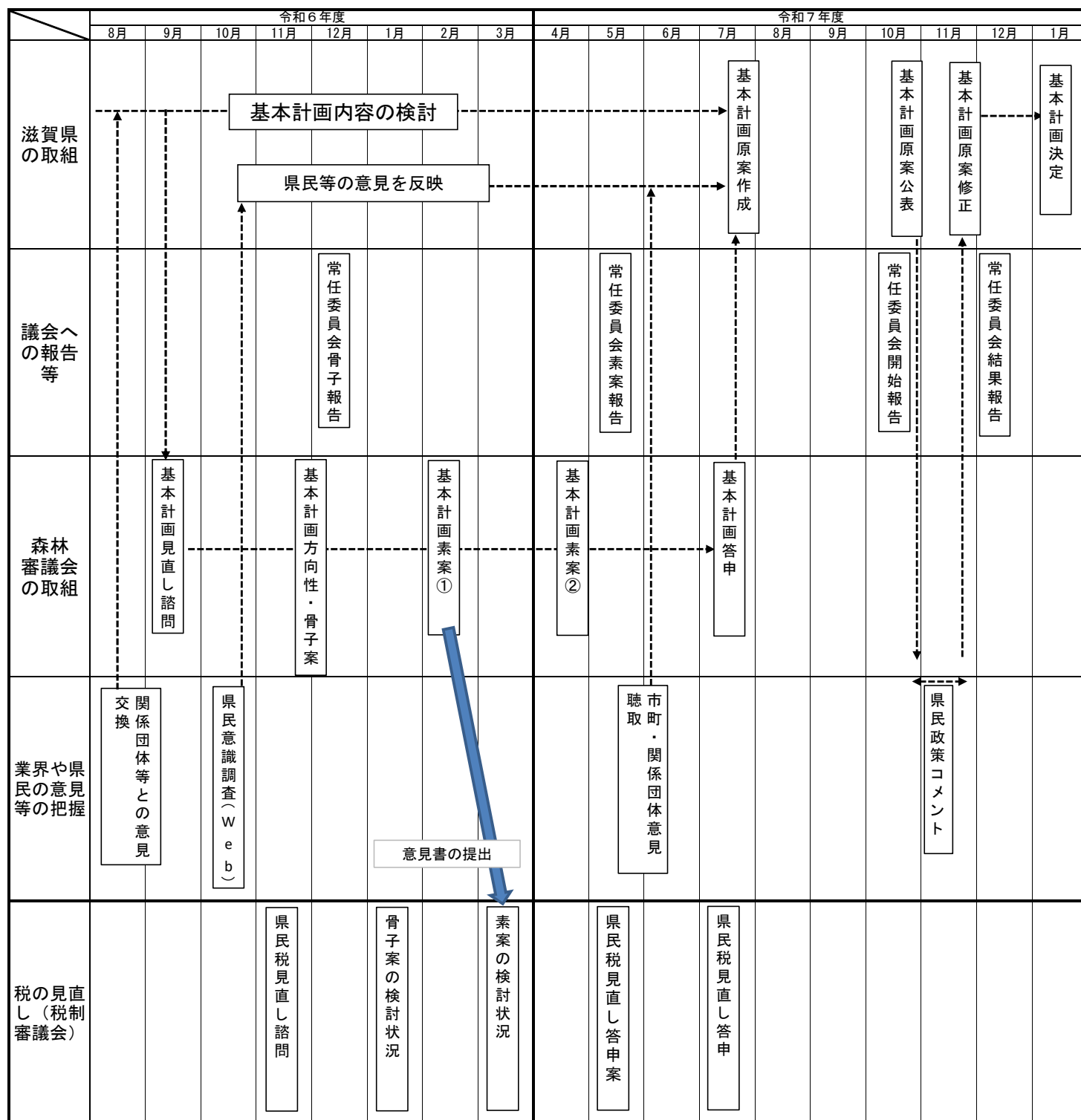
2 見直しの方向性案について

花粉発生源対策に資する主伐再造林の推進・再造林の確実な実施
 伊吹山など局地的な土砂災害・豪雨への迅速な対応と、森林整備等の実施
 カーボンニュートラル、GX、生物多様性に資する森林整備の推進
 森林の公的管理に向けた検討
 航空レーザ測量など詳細なデータやICTを活用するスマート林業の一層の推進
 森林組合合併を契機とした県産材生産・流通の効率化・競争力強化
 企業との連携の強化による森林整備の推進、農山村地域の活性化、木材利用の推進
 木育拠点施設整備を契機とした、木に触れる機会の更なる創出
 木材の生産・流通の各段階における人材の確保・育成等の推進（所得や安全衛生の向上を含む）

3 今後の予定

令和6年	5月	～令和6年10月	見直しの方向性検討、県民意識調査の実施
令和6年	9月		森林審議会（諮問、森林・林業の現状について報告）
令和6年	11月		森林審議会（基本計画見直しの方向性・骨子案の検討）
令和6年	12月		常任委員会に基本計画見直し（骨子案）について報告
令和7年	2月		森林審議会（基本計画見直しの素案①）
令和7年	3月		税制審議会に意見書の提出（森林審議会委員ヒアリング）
令和7年	4月		森林審議会（基本計画見直しの素案②）
令和7年	5月		常任委員会に基本計画見直し（素案）について報告
令和7年	7月		森林審議会から、基本計画見直しの答申
令和7年	10月		常任委員会に基本計画見直し（改定案）について報告
令和7年	10月	～11月	県民政策コメント
令和7年	12月		常任委員会に基本計画（改定案）修正について報告
令和8年	3月		基本計画（改定）について公表

琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）見直しに向けたスケジュール（案）



第146回 滋賀県森林審議会

滋賀県の森林・林業における
現状と課題について

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課

琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）（改定）の概要



策定の趣旨

- 第1期計画（平成17年度～令和2年度）の取組や対応すべき課題、滋賀県産材の利用の促進に関する条例（以下「県産材利用促進条例」という。）の制定を踏まえ、森林・林業に関する具体的な施策の方向を示す。

計画の位置づけ・期間

- 1 計画の位置づけ
琵琶湖森林づくり条例第9条に基づく計画
県産材利用促進条例第10条に基づく計画
滋賀県基本構想や第5次滋賀県環境総合計画に基づき、他の計画と調和、また森林法に基づく地域森林計画と整合
- 2 計画期間 令和3年度～令和12年度（2021年度～2030年度）（10年間）

目指す森林づくりの方向

1 基本方向

琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりの推進

2 基本方針

琵琶湖の水源林の恵みを活かし、皆で支え育む森林づくり
やまの資源をフル活用した収益の最大化

3 基本方針に基づく施策の考え方

100年後の目指す姿を見据えた施策の考え方を規定

方針1 森林づくり

多面的機能の発揮のため「環境林」と「循環林」を組み合わせた森林づくりを推進

方針2 地域づくり

県民の理解と参加を促し、森林づくりと農山村の活性化を一体的に推進

方針3 産業づくり

川上から川下に至る林業・木材産業の活性化を促進

方針4 人づくり

担い手の確保・育成および次代を担う子どもたちへの森林環境学習やしなが木育を推進

4 SDGs、MLGsの達成に向けた取組

新たな指標 ⇒R12年

施策2 多様な主体との協働により進める森林・林業・農山村づくり	・「やまの健康」を具体化する企業等が関わる取組数（累計）	11企業等（R4）⇒30企業等
施策3 森林資源の循環利用による林業の成長産業化	・林業就業者の平均給与 ・県施設の内装等木質化率 ・しが木育に親しむ人数（累計）	340万円（R3）⇒430万円 80%（R3）⇒100% 2,226人（R3）⇒30,000人
施策4 豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくり	・林業就業者数 ・森林経営プランナー数（累計）	243人（R3）⇒250人 1人（R4）⇒7人

基本施策

計画期間の10年間に行う基本的な施策

施策1 多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり

- (1) 適切なゾーニングに基づく森林づくりの推進
多面的機能を重視した森林づくり、主伐・再造林の促進、森林経営管理制度の推進、地球温暖化防止への貢献等
- (2) 災害に強い森林づくりの推進
ライフライン保全の取組、水源林の保全巡視、流域の広域的な課題への対応 等
- (3) 生物多様性の保全
多様な自然生態系の保全、二ホンジカ生息密度の低減、土壌保全対策 等

施策2 多様な主体との協働により進める森林・林業・農山村づくり

- (1) 多様な主体による森林づくりの推進
企業、地域住民、ボランティア団体等の取組支援、県民の理解の醸成 等
- (2) 森林の整備・林業の振興と農山村の活性化の一体的な推進
地域資源を活かした仕事おこし等による農山村の活性化、地域を担う人づくりの推進、森林文化の振興 等

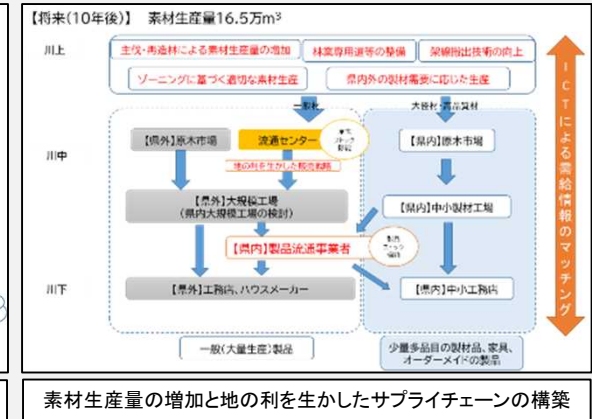
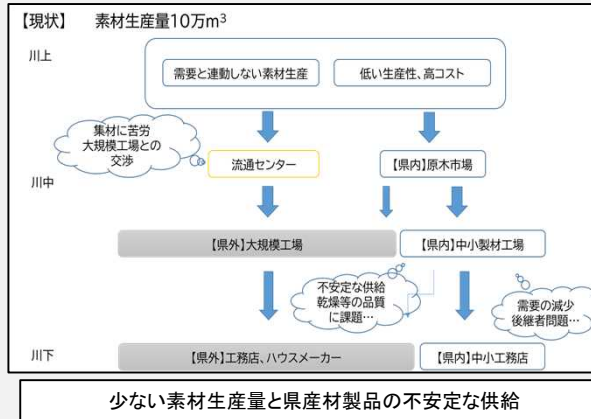
施策3 森林資源の循環利用による林業の成長産業化

- (1) 活力ある林業生産の推進
林地境界の明確化、集約化推進、機械化による生産性向上、県産材の安定供給、林業所得向上 等
- (2) 県産材の加工・流通体制の整備
加工体制の整備、加工・流通を担う人材の育成、大型製材工場の検討 等
- (3) あらゆる用途への県産材の活用
魅力の発信やしなが木育の推進、公共施設や民間非住宅分野等での県産材の活用、新規需要開拓の推進、県施設の内装等木質化率100% 等
- (4) ICT等を活用した林業・木材産業の競争力強化
精度の高い森林資源情報、地形情報等の把握、スマート林業の推進、ICTを活用したサプライチェーンの構築 等

施策4 豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくり

- (1) 林業の担い手の確保・育成
新規就業者の確保、森林・林業に関わる総合的な人材の育成等
- (2) 次代の森林づくりを担う人々の理解の醸成
森林を通じた学びの提供（グリーン・リスキリングに取り組む企業等の支援）、森林所有者の理解、意欲の高揚 等

林業・木材産業の現状と目指す姿



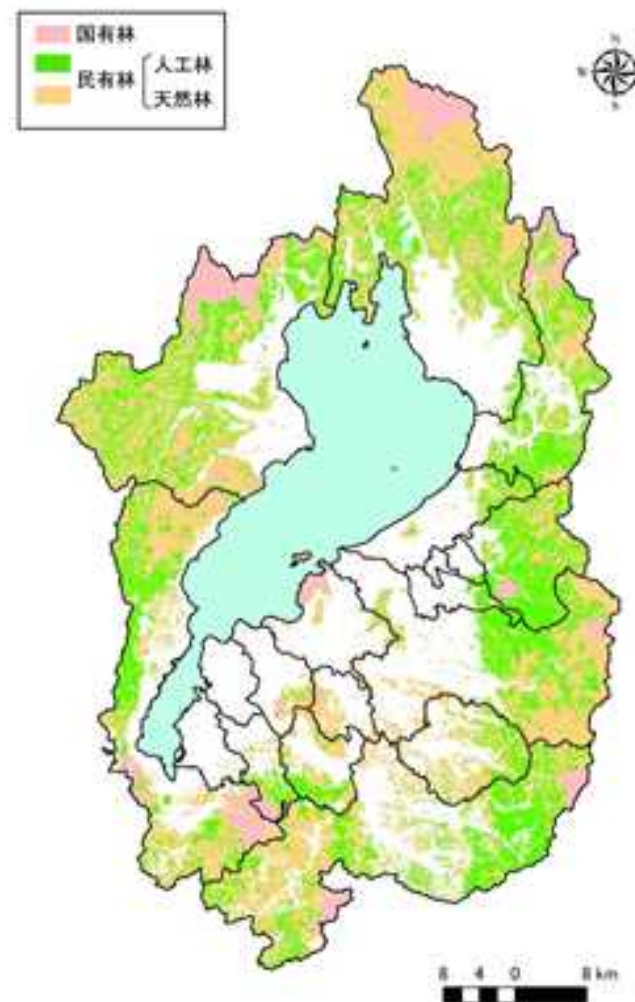
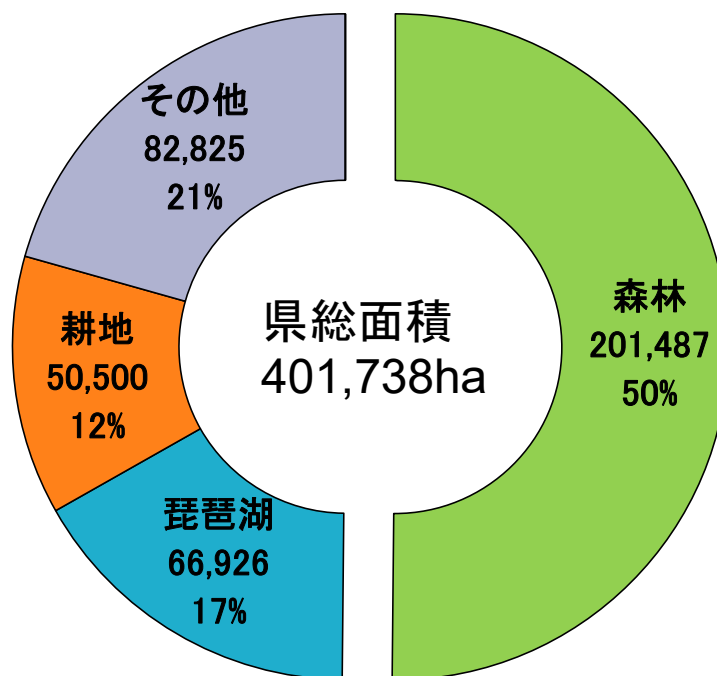
施策1 関連

- 多面的機能の持続的発揮に向けた
森林づくり

滋賀県の森林の状況

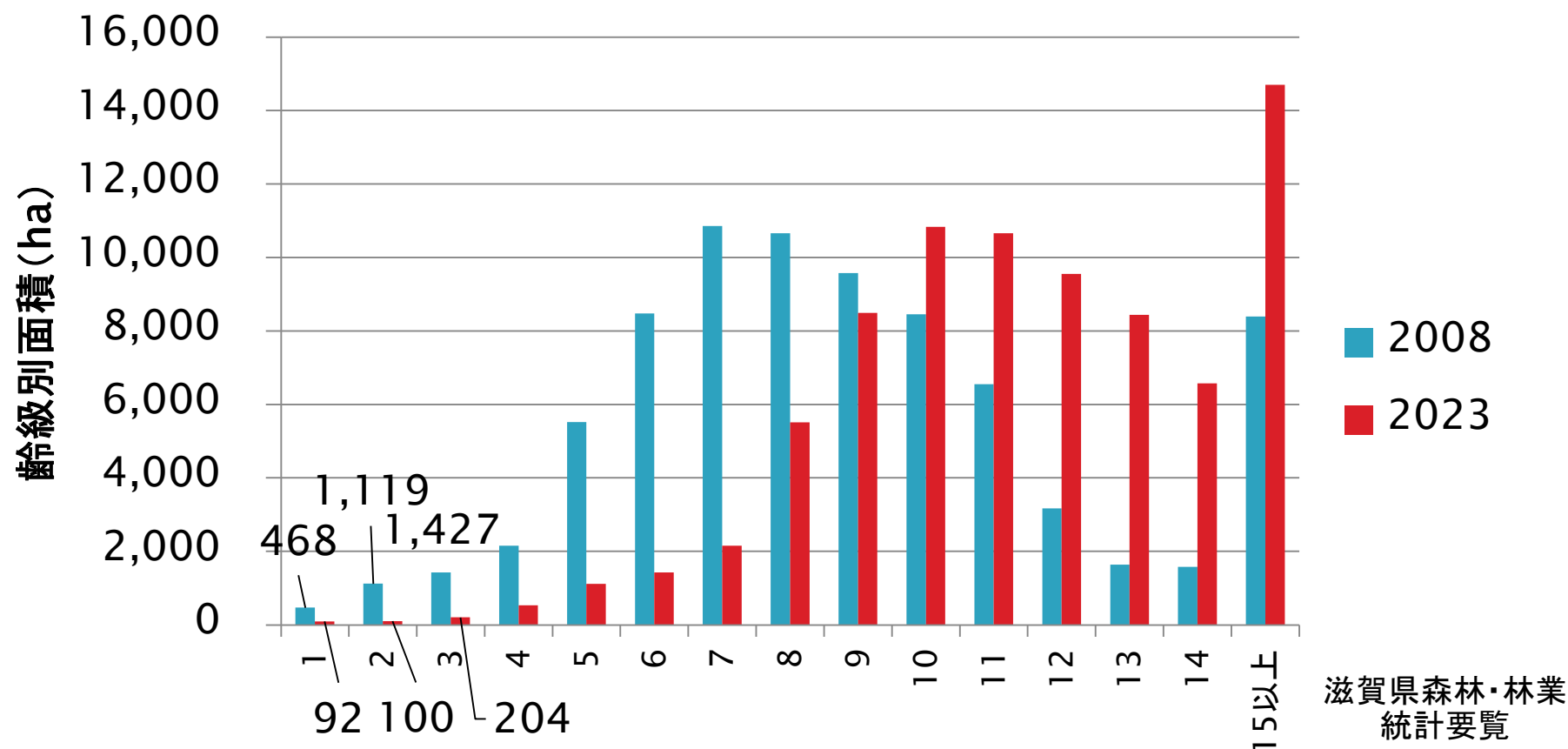
www.pref.shiga.jp

滋賀県の約半分は森林
(琵琶湖の約3倍)



人工林の齢級別面積(民有林)

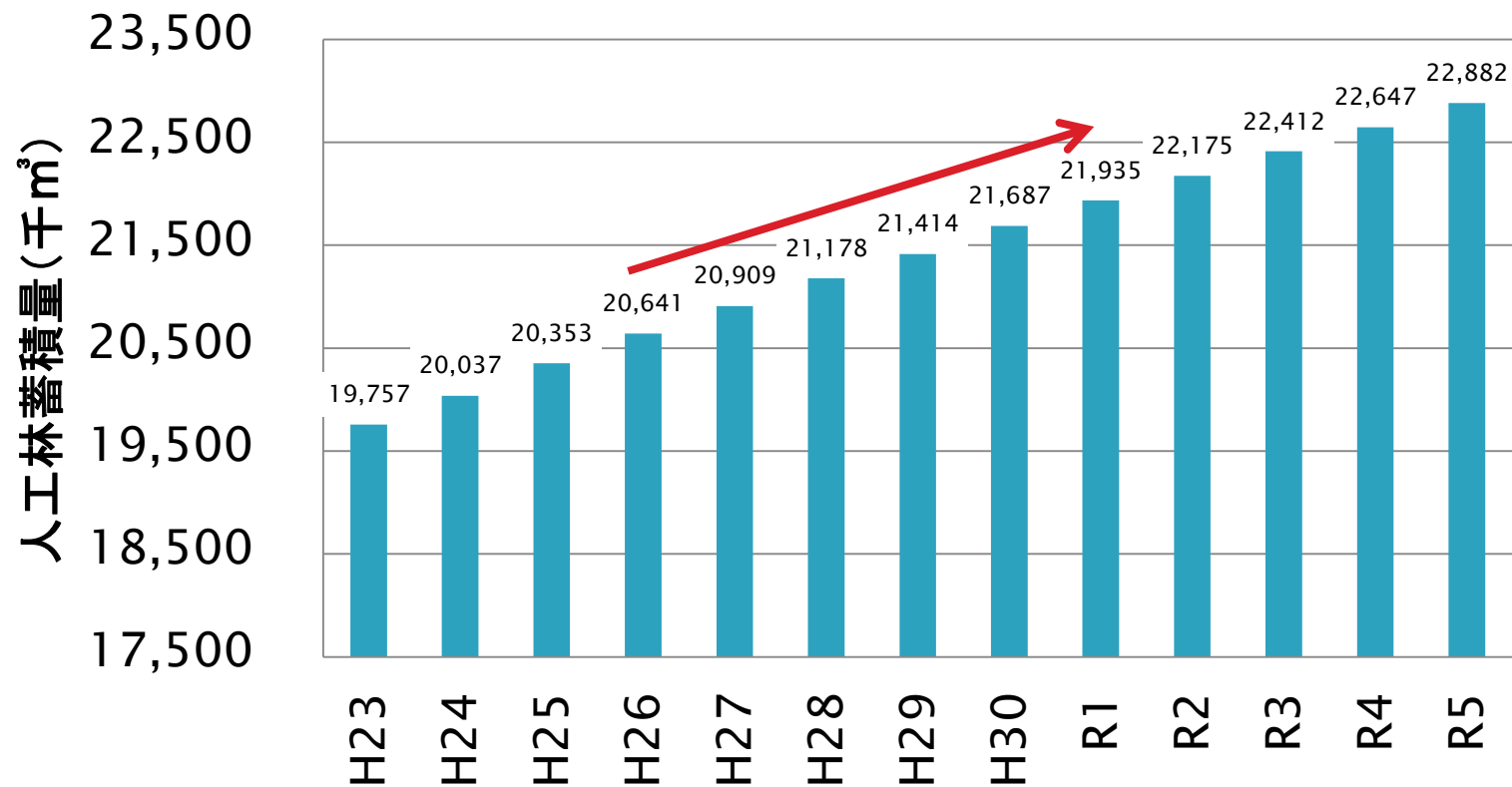
www.pref.shiga.jp



- ・森林資源は本格的な利用期に入っている。(主伐による利用が可能な10齢級以上の森林が75%)
- ・低い採算性、獣害への懸念等から、主伐・再造林が減少しており、高齢林分が増加している。

人工林蓄積量の推移

www.pref.shiga.jp

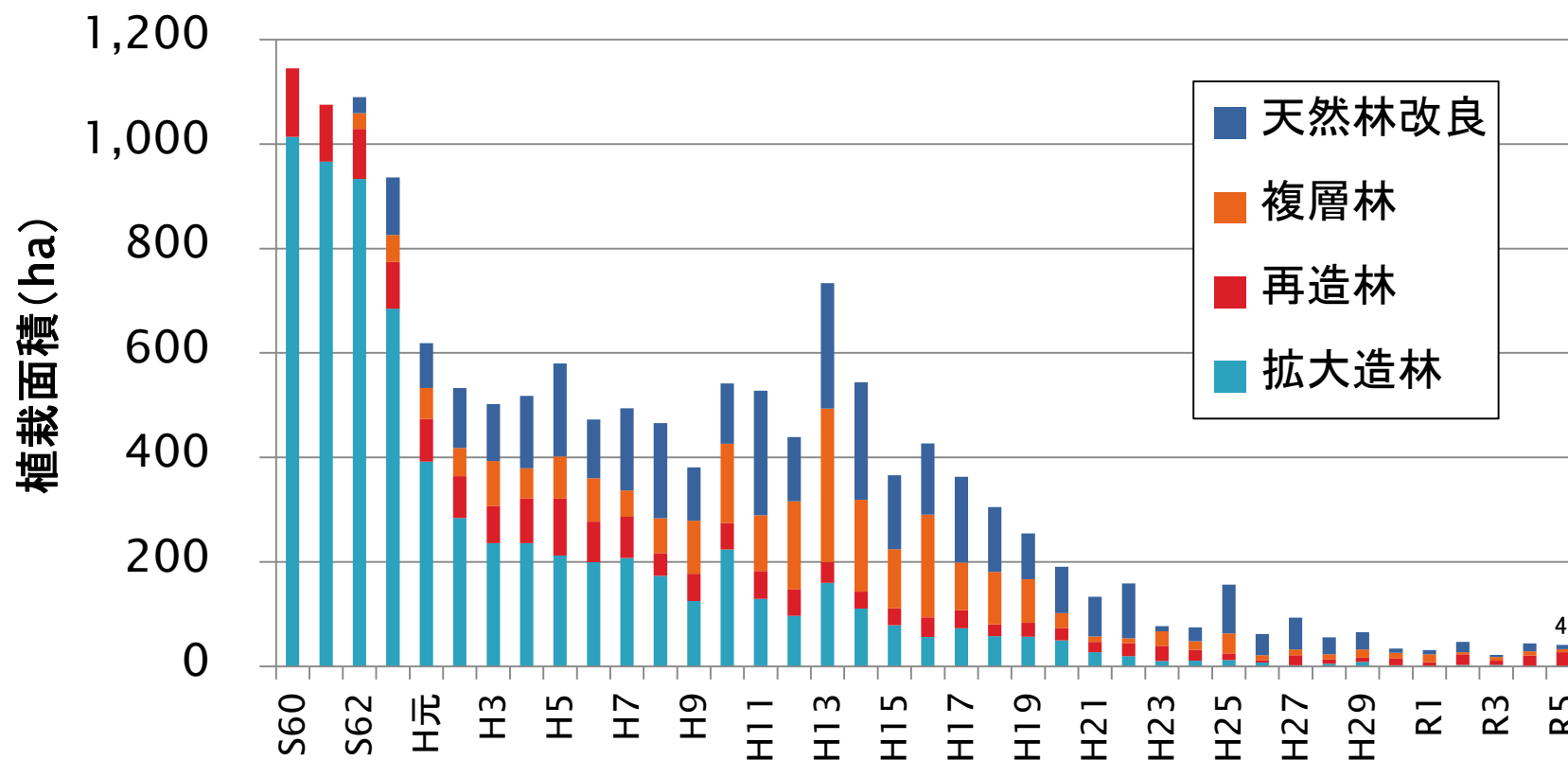


滋賀県森林・林業統計要覧

- ・人工林蓄積量は毎年20万m³以上増加しているが、増加量は微減している。
- ・蓄積量増加の範囲で、環境に配慮しつつ適切に活用していくことが必要である。

造林面積の推移

www.pref.shiga.jp

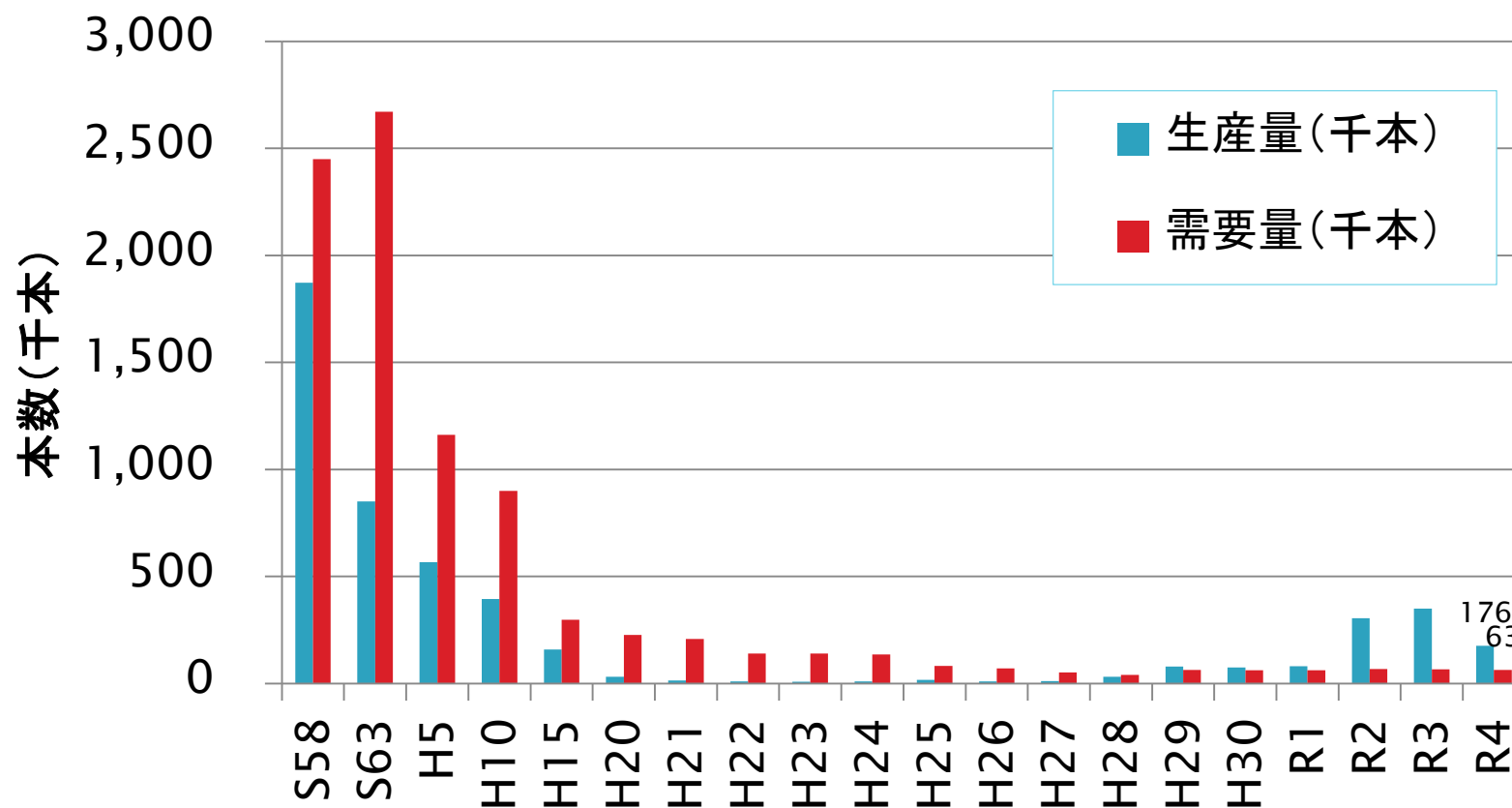


滋賀県森林・林業統計要覧

- ・造林面積は年々減少し、近年は30ha前後で推移。
- ・持続的な資源利用する視点から、適切な更新を行い、次世代の森林を育成していくことが求められている。

山行用苗木需給状況

www.pref.shiga.jp

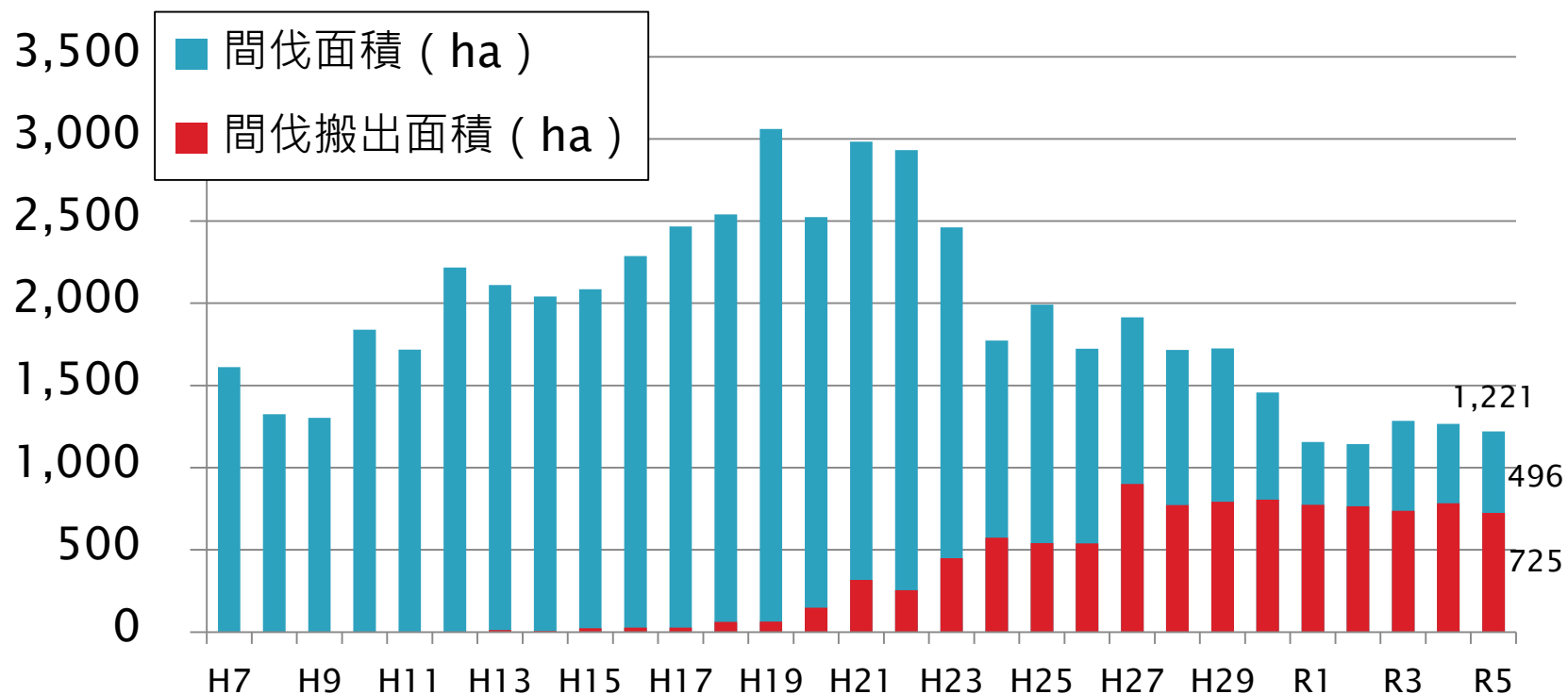


滋賀県森林・林業統計要覧

- ・造林面積の減少に伴って苗木の生産量、需要量も低迷していたが、近年生産量は増加している。
- ・全国的には主伐・再造林が行われていることもあり、県内の苗木は県外で消費されている。

間伐実施面積、利用間伐面積の推移

www.pref.shiga.jp

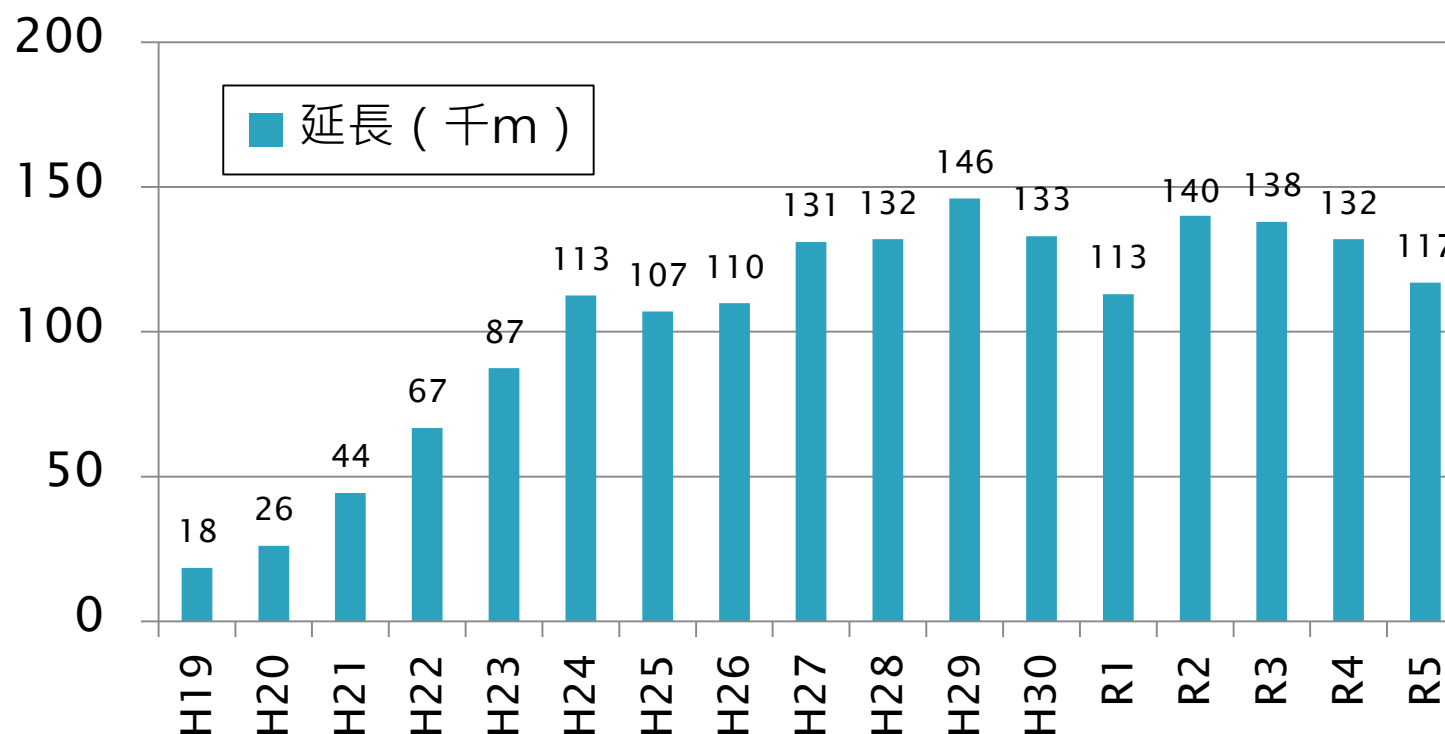


滋賀県森林・林業統計要覧

- ・近年は成熟期を迎える林分が増加し、間伐材を資源として活用する利用間伐が増加した結果、間伐面積全体では減少し、年1,200ha前後で推移している。

作業道開設延長の推移

www.pref.shiga.jp

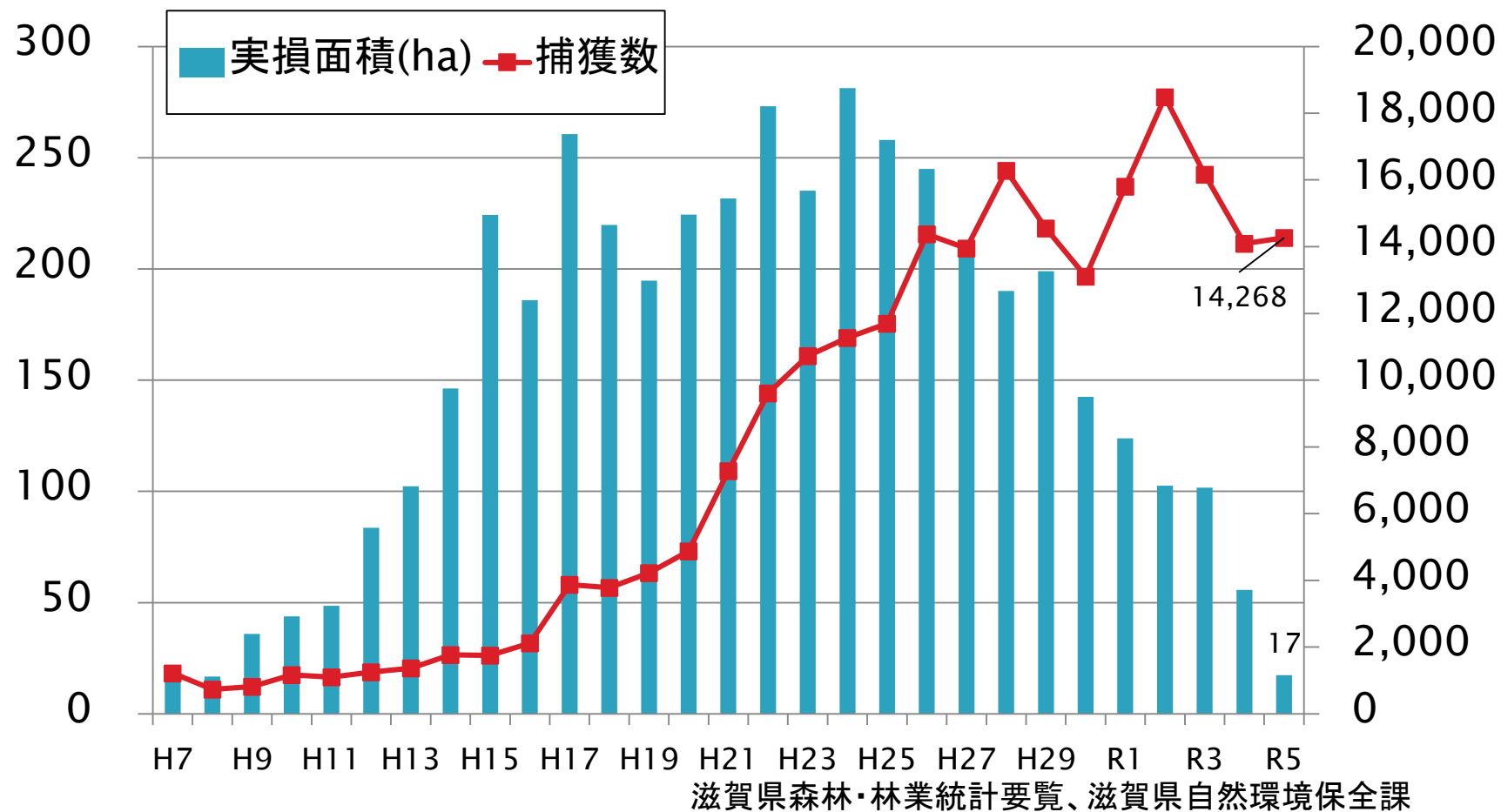


滋賀県森林・林業統計要覧

・路網整備により、適切な森林整備や低コスト施業に貢献している。

ニホンジカによる実損面積と捕獲頭数

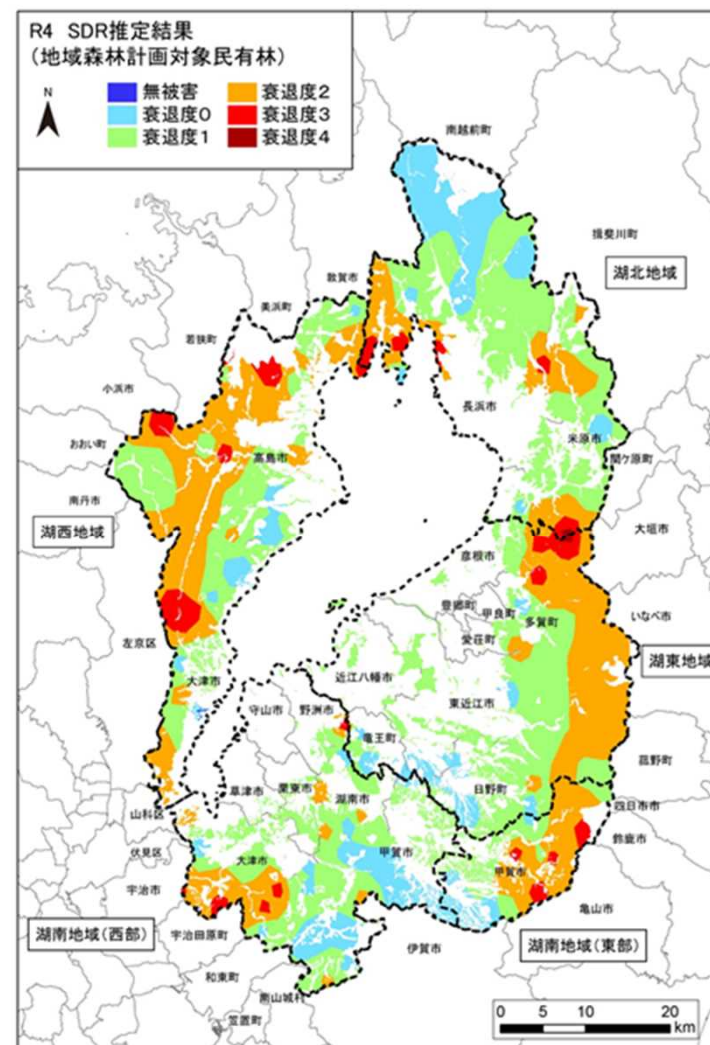
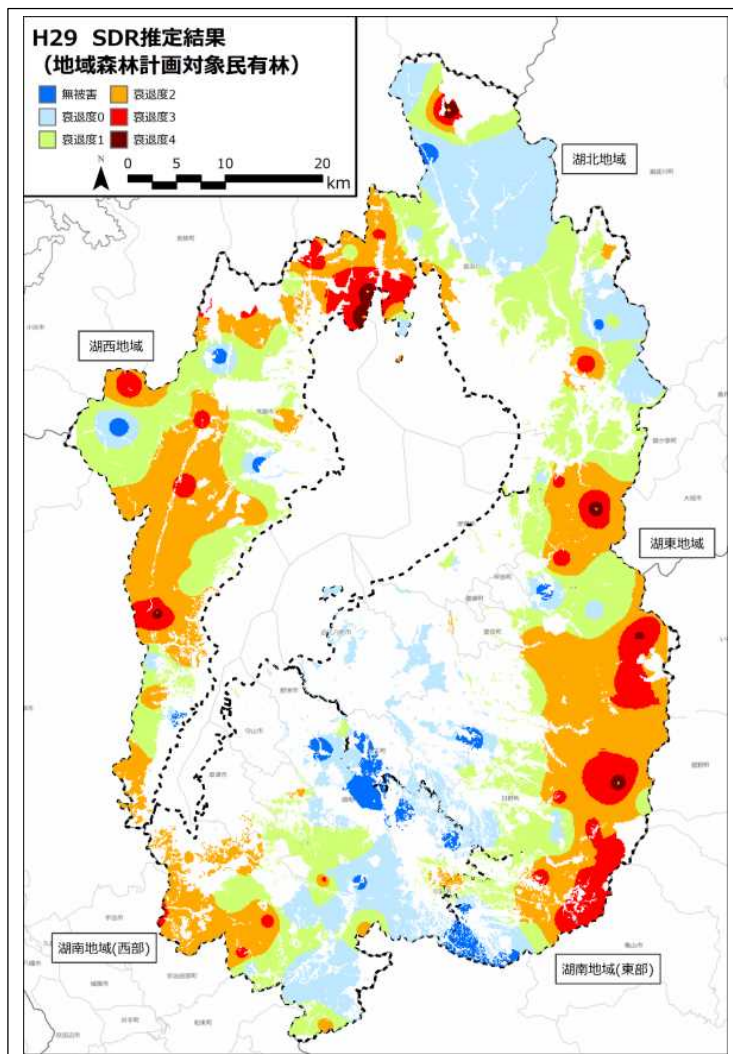
www.pref.shiga.jp



※R5の捕獲数は速報値

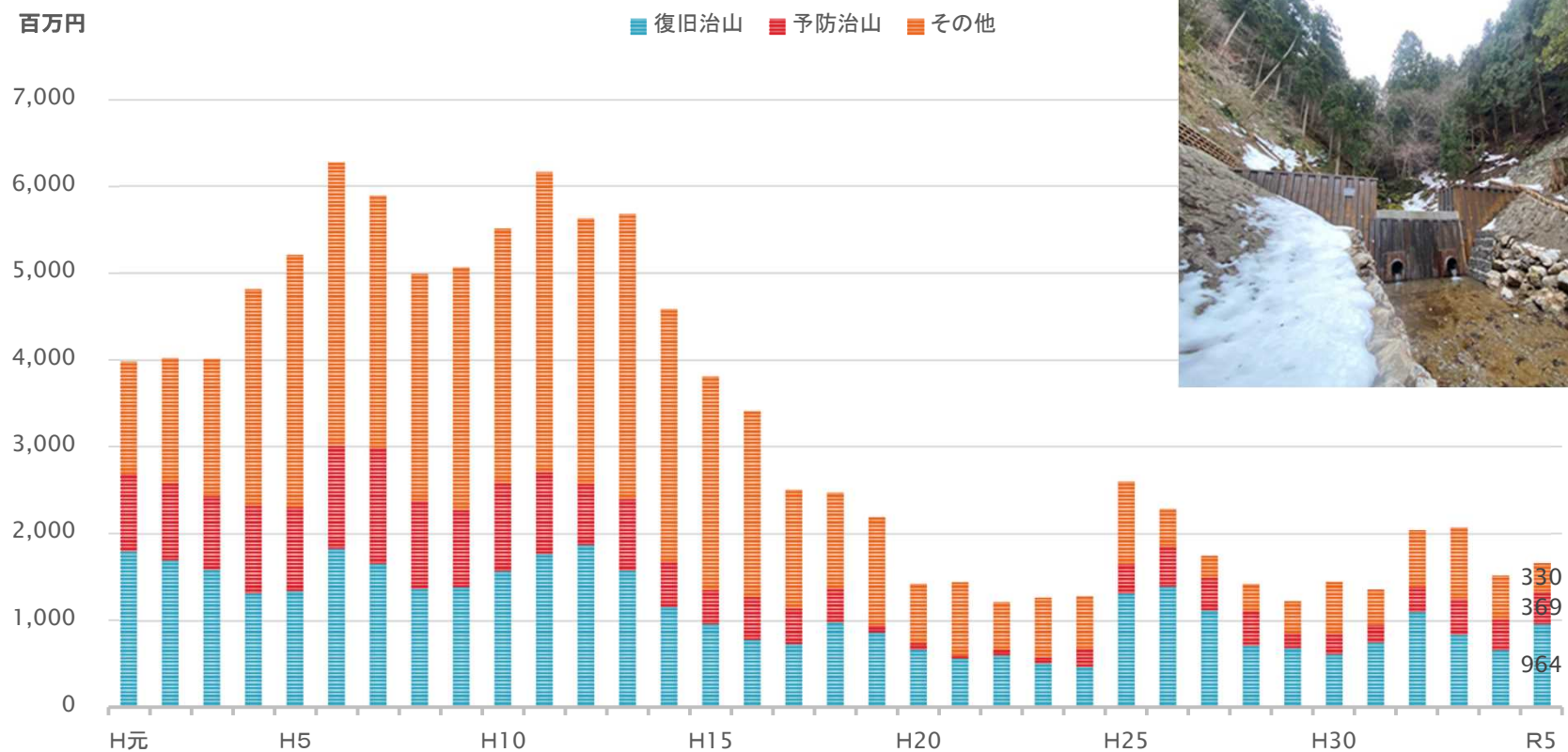
下層植生衰退度調査結果

www.pref.shiga.jp



治山事業実績の推移

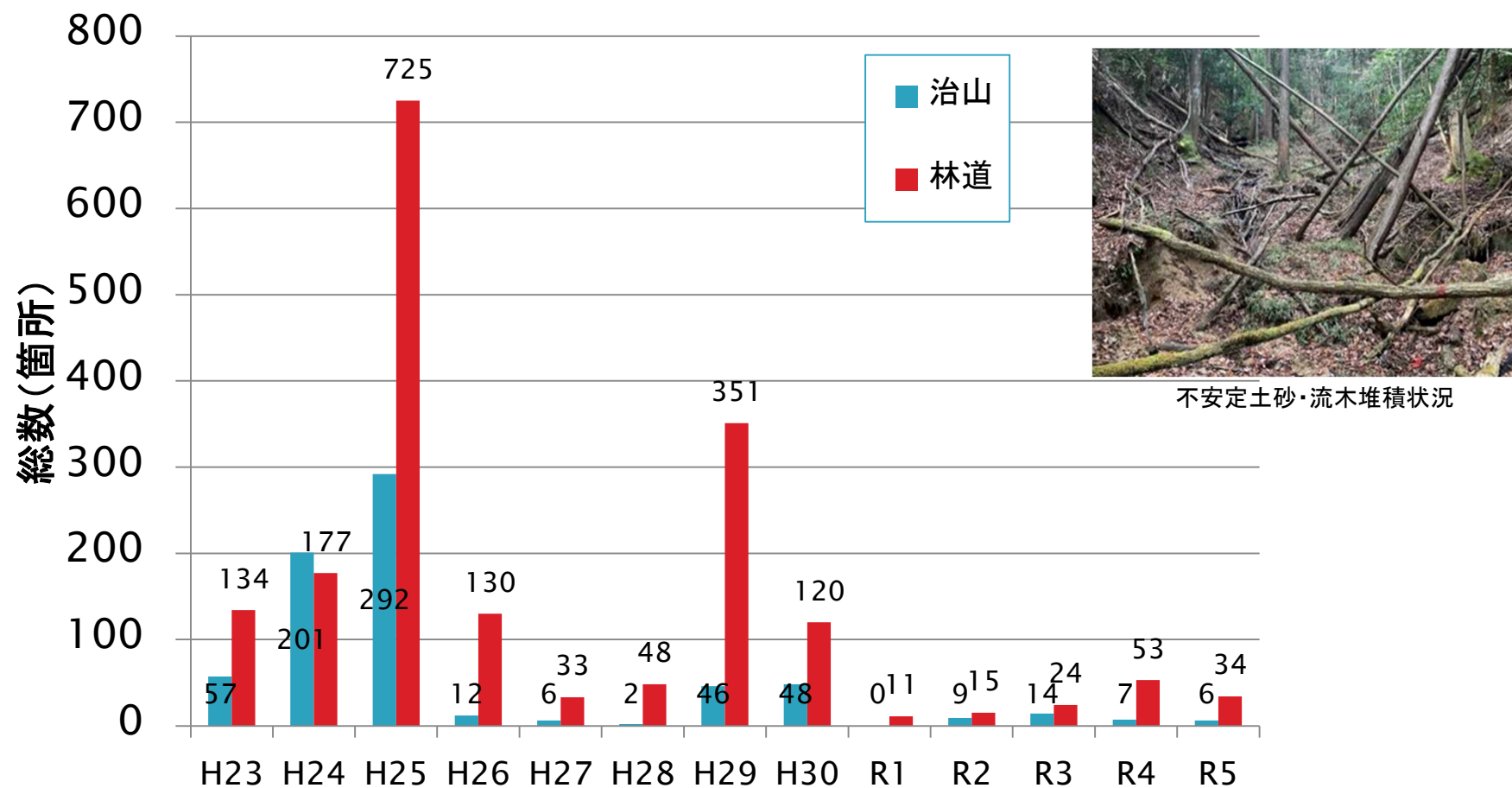
www.pref.shiga.jp



滋賀県森林・林業統計要覧

災害報告件数

www.pref.shiga.jp



滋賀県農林水産業災害誌

局地的な土砂流出の発生

www.pref.shiga.jp



伊吹山



高時川上流部支流(針川)

森林経営管理制度 東近江市の事例

www.pref.shiga.jp

➤ 東近江市では森林の適正な管理を目指して、自治会ごとに集落会議を行い集落毎に「森づくりビジョン」を作成しています。
更に、令和5年4月1日には「東近江市森林経営管理法における基本方針」を定め、制度の本格的な運用を開始しています。

□ 事業内容

森林経営管理委託業務

- ・ 集落会議の開催及び森林の整備方針の策定
- ・ デジタル測量技術を活用した森林境界案の提示
- ・ 東近江市経営管理モデル事業の創設（令和5年度から実施）

【事業費】390千円（うち譲与税390千円）

（譲与税は、集落会議開催に係る委託に充当）

【実績】森林の整備方針の策定

政所町、杠葉尾町、蓼畑町及び九居瀬町

□ 取組の背景

- ・ 新所有者の高齢化と世代交代により境界が分からない人工林が増加
- ・ 所有者が高齢化する中で、森林協騎亜の立会い作業は大きな負担
- ・ 集約化施業を行う上で、森林境界がわからず施業を断念するケースが多く存在
- ・ 木材価格の低迷により保育事業など管理放棄される人工林が増加



（集落会議）



（机上での境界明確化作業）

□ 工夫・留意した点

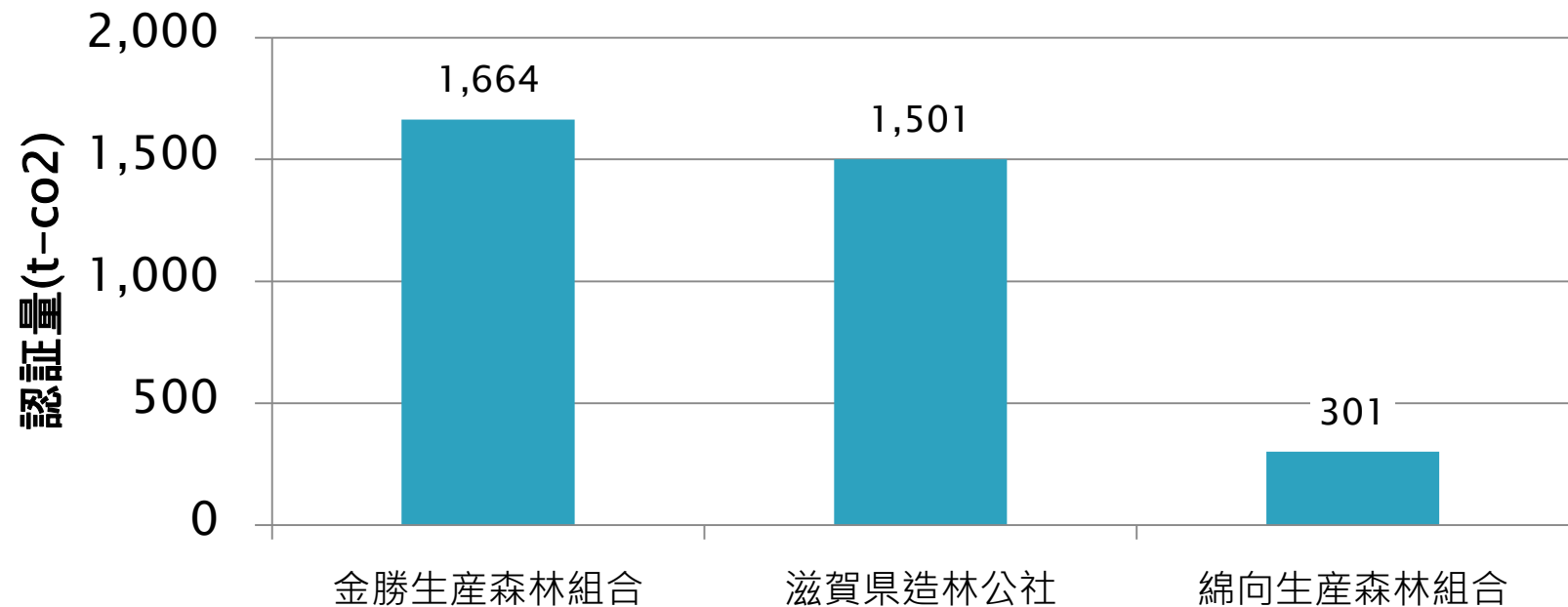
- ・ ワークショップ方式で意見を集約
- ・ 地域の実情を反映できるよう、集落ごとに整備方針を策定
- ・ 森林微地形図や林相図などの解析データにより作成した境界図を森林所有者に机上で示すことで事業を効率化
- ・ 東近江市森林経営管理モデル事業を創設し、対象とする森林の要件等について定めた。

□ 取組の効果

- ・ 林業経営に適した経済林と保全機能を重視した環境林をゾーニングすることで、将来の森林整備に係る計画が立案できる。
- ・ デジタル技術を活用することで、森林境界明確化作業の省力化と効率的な事業が実施できた。
- ・ 所有者ごとの森林境界が明らかになることで、集約化施業が可能となる。
- ・ 森林の多面的機能を維持し、様々な森林の利活用についての検討が可能となる。

県内のJクレジット(森林由来)認証量

www.pref.shiga.jp



Jクレジット事務局公表資料

・この他、今年度甲賀市(市有林)と1団体で認証申請中

対応すべき課題

www.pref.shiga.jp

▶ 見直しの方向性

- 花粉発生源対策に資する主伐再造林の推進・再造林の確実な実施
- 伊吹山など局地的な土砂災害・豪雨への迅速な対応と、森林整備等の実施
- カーボンニュートラル、GX、生物多様性に資する森林整備の推進
- 森林の公的管理に向けた検討
- 航空レーザ測量など詳細なデータやICTを活用するスマート林業の一層の推進
- 企業との連携の強化による森林整備の推進

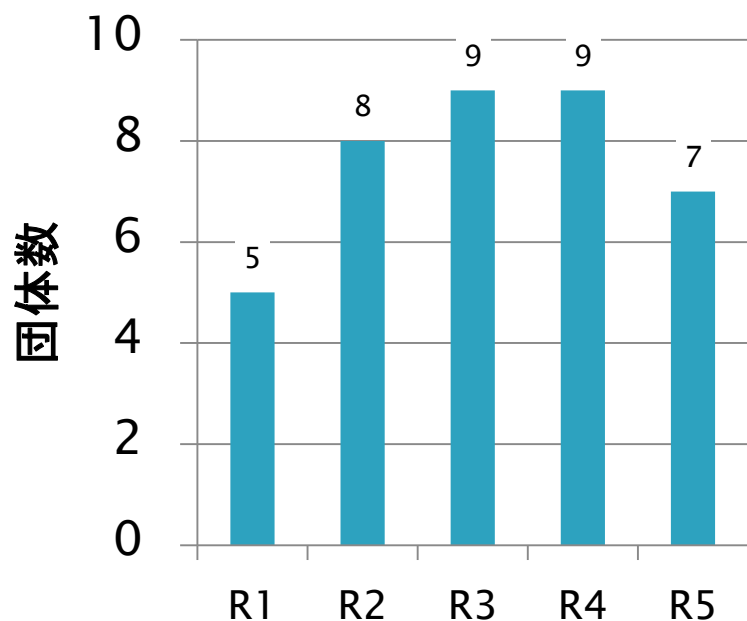
方針2

≫ 多様な主体との協働により進める
森林・林業・農山村づくり

農山村の活性化(やまの健康の具体化)

www.pref.shiga.jp

- ▶ 地域住民自らが、森林等の地域資源を活かし、地域経済の活性化等を目指す活動を支援
- ▶ 森林空間を活用したサービスの構築等、「都市とやまをつなぐ」メニューの整備や体制づくり、人材育成を実施



森の恵み活用促進事業 助成団体数

(滋賀県森林・林業統計要覧)

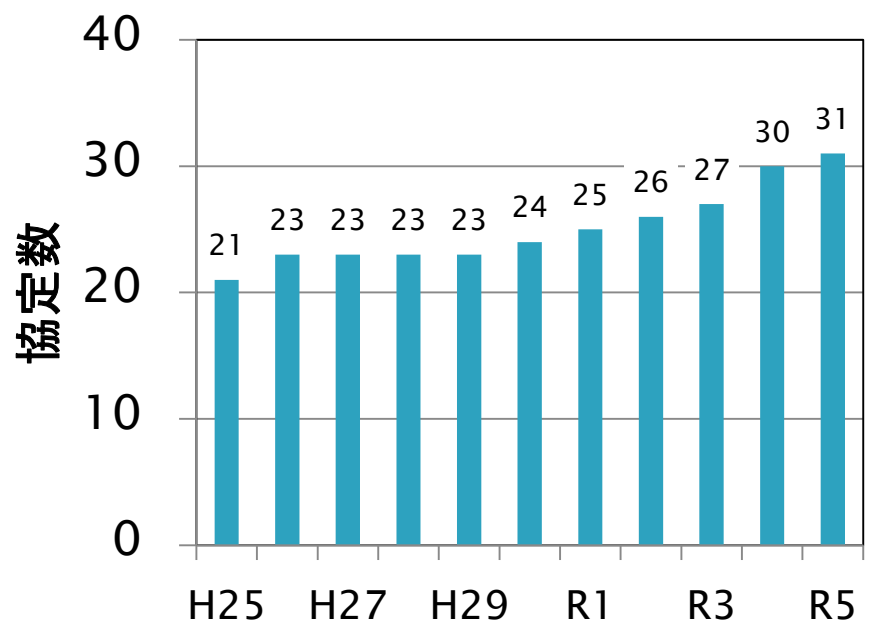


スギ・ヒノキのアロマオイル
(森林資源活用)

企業連携による森林づくり

www.pref.shiga.jp

- ▶ 活動フィールドを提供する土地所有者と、森林づくりに関心のある企業をつなぐ「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を実施
- ▶ 企業側と山側のコーディネート、協定締結立会、森づくり活動への助言、などを実施。



琵琶湖森林づくりパートナー協定 締結数

(滋賀県森林・林業統計要覧)



協定締結・森づくり活動

対応すべき課題

www.pref.shiga.jp

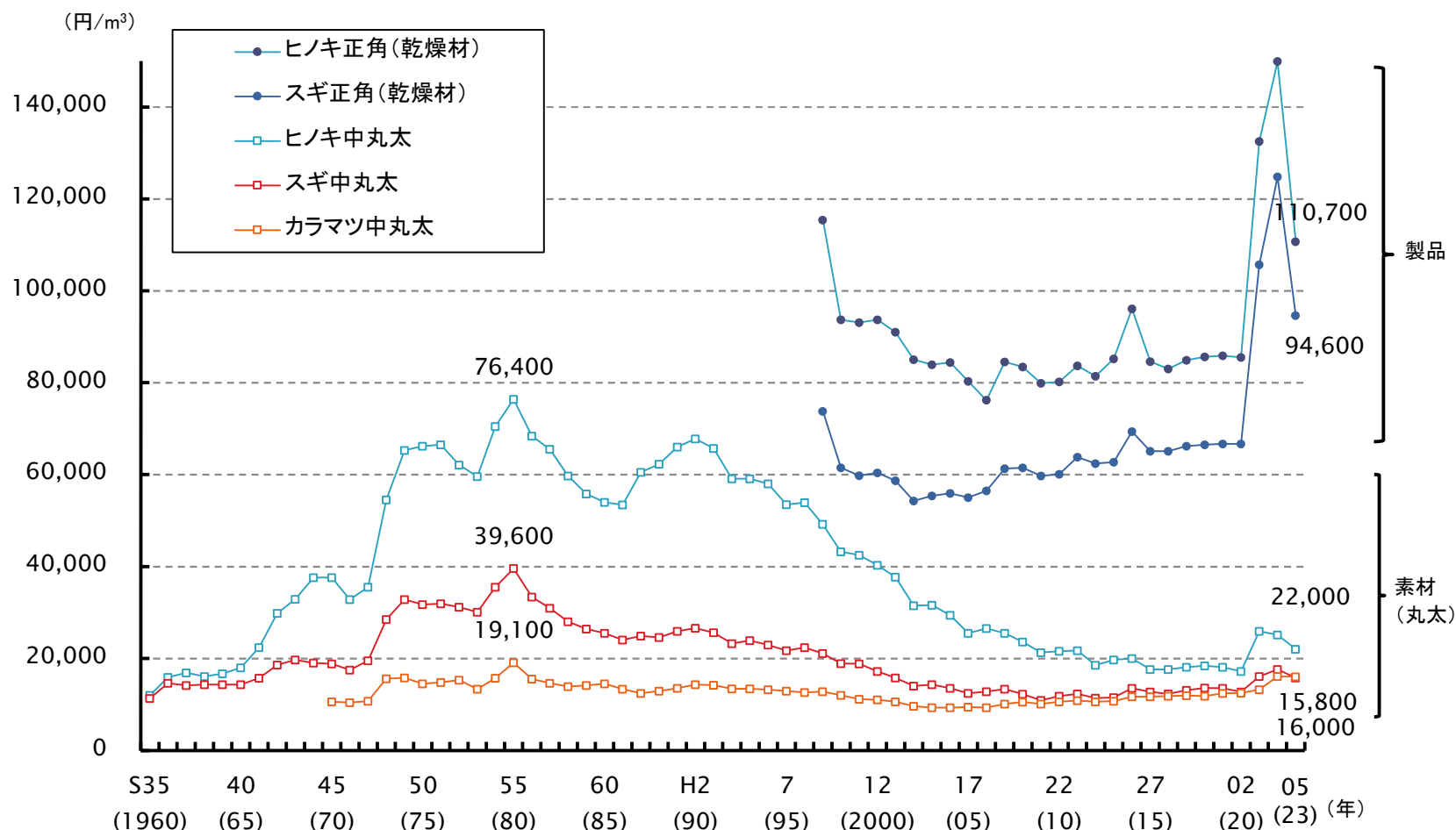
- ▶ 見直しの方向性
 - カーボンニュートラル、GX、生物多様性に資する森林整備の推進
 - 企業との連携の強化による森林整備の推進、農山村地域の活性化

施策3関連

➤➤ 森林資源の循環利用による林業の
成長産業化

木材価格の推移(全国)

www.pref.shiga.jp

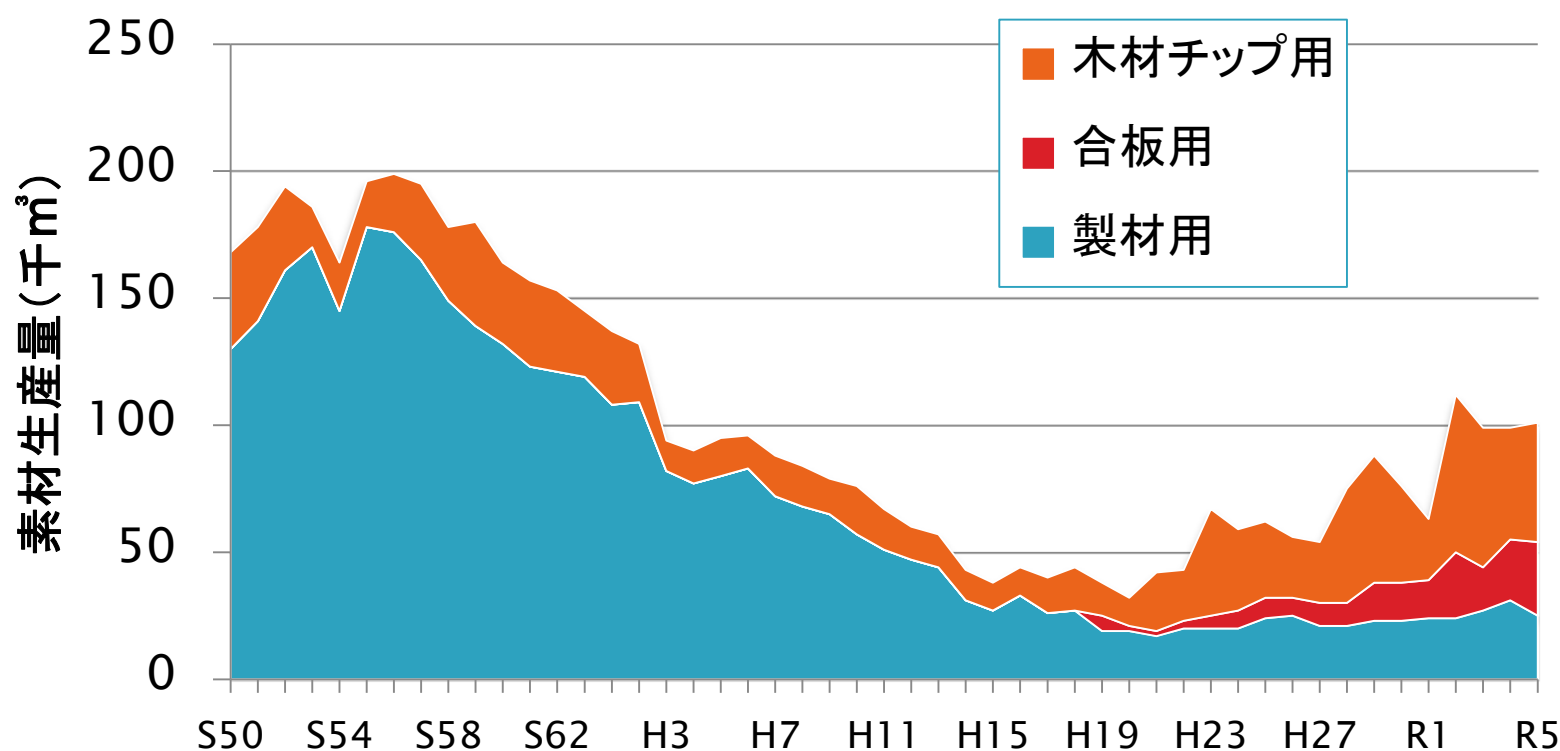


・素材価格や製品価格は、R3のウッドショックの影響により一時的に高騰した。R5は、下落傾向にあるものの、R2よりも高い水準で推移している。

出展：森林・林業白書

需要部門別素材生産量の推移(滋賀県)

www.pref.shiga.jp

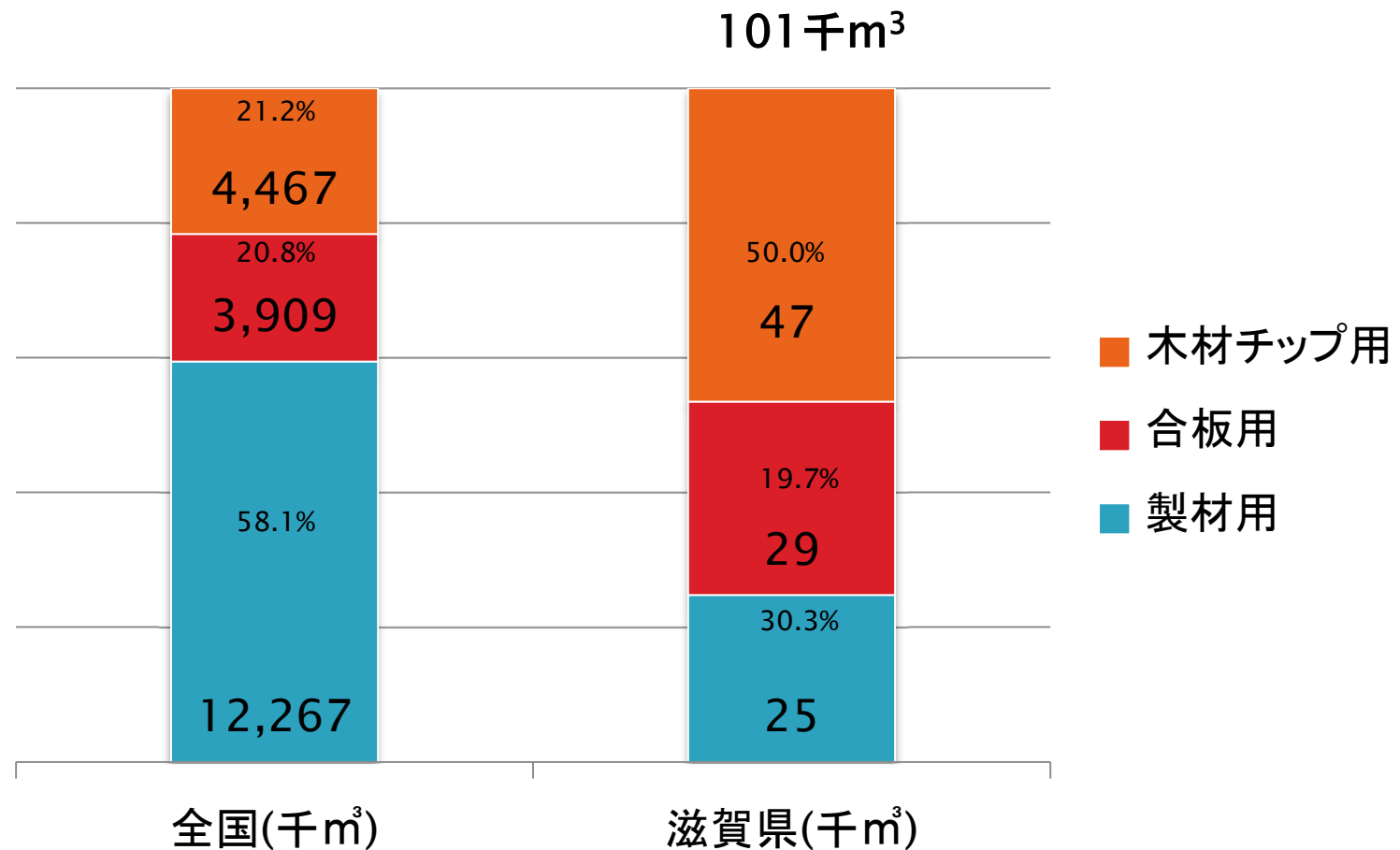


滋賀県森林・林業統計要覧

- ・素材生産量は近年、森林資源の成熟や搬出間伐の増加に伴い、増加傾向
- ・需要先別では、チップ用材、合板用材を中心に増加している。

需要部門別素材生産量(R5)

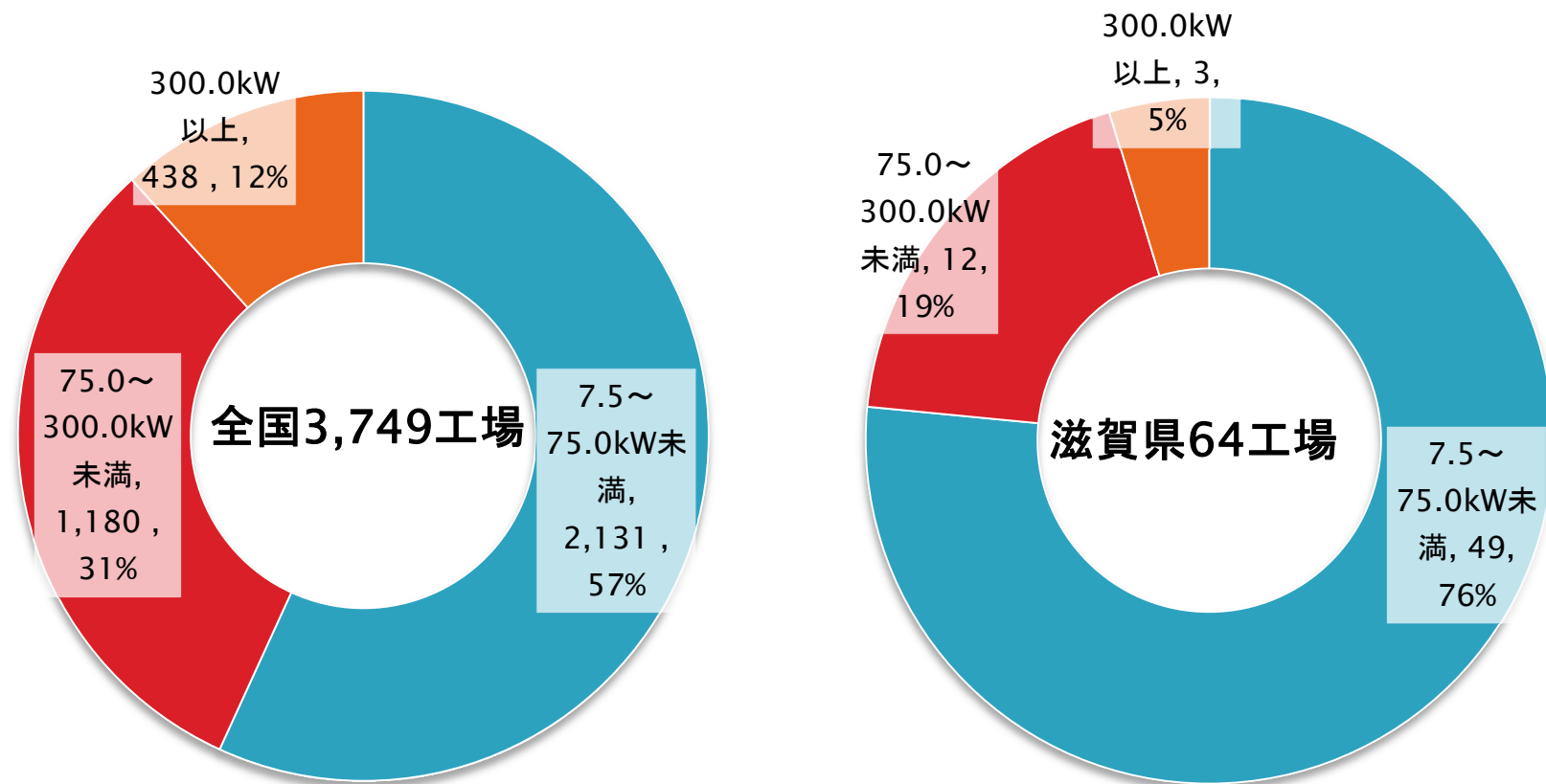
www.pref.shiga.jp



全国：農林水産省「木材統計」
滋賀県：独自調査

製材工場数の出力階層別構成割合(R5)

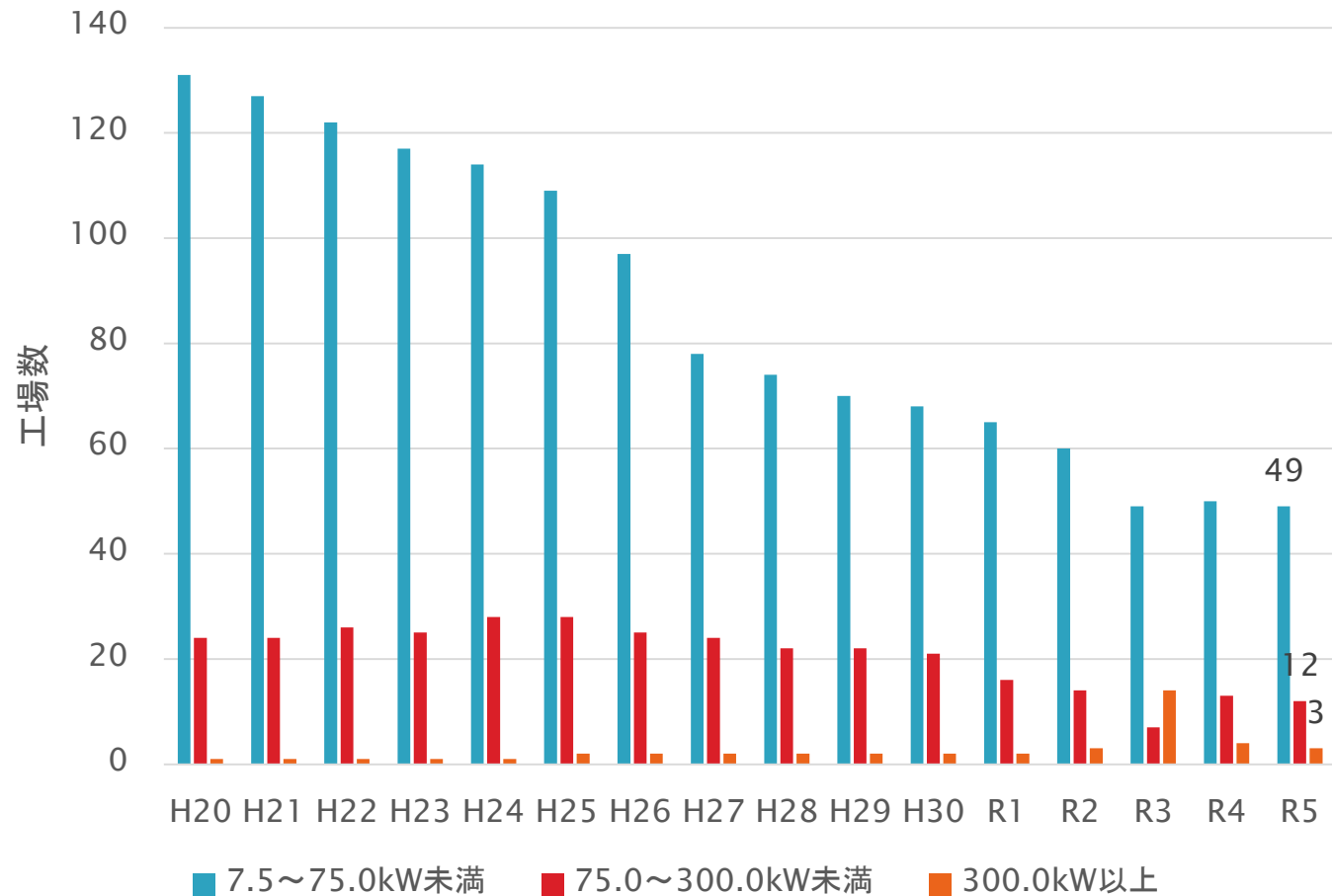
www.pref.shiga.jp



農林水産省「木材需給報告書」

県内製材工場数の推移

www.pref.shiga.jp

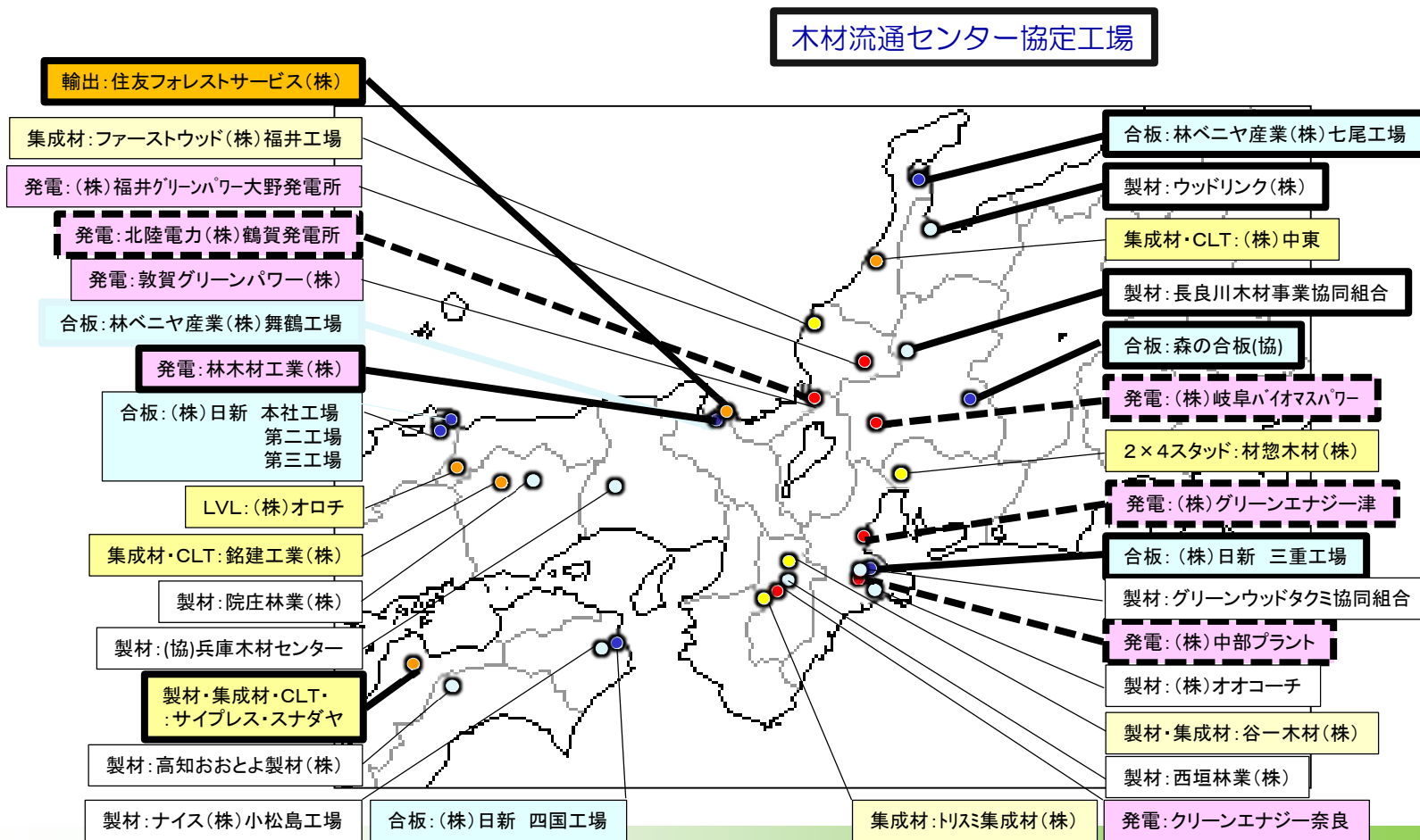


農林水産省「木材需給報告書」

滋賀県周辺の木材加工工場等の状況

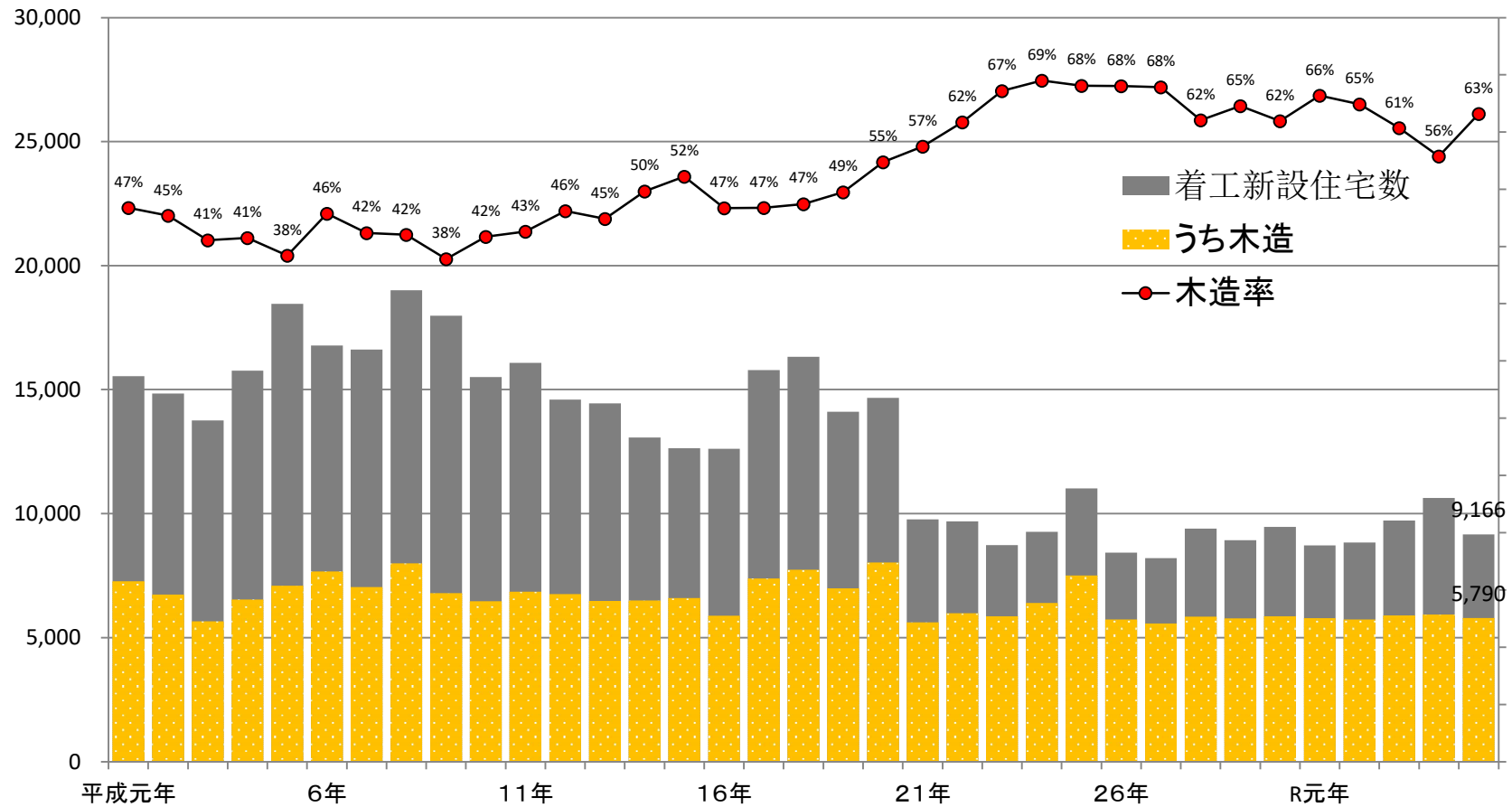
www.pref.shiga.jp

滋賀県を取り囲むように 大型製材工場、バイオマス発電施設等が立地



新設住宅着工数の推移(滋賀県)

www.pref.shiga.jp

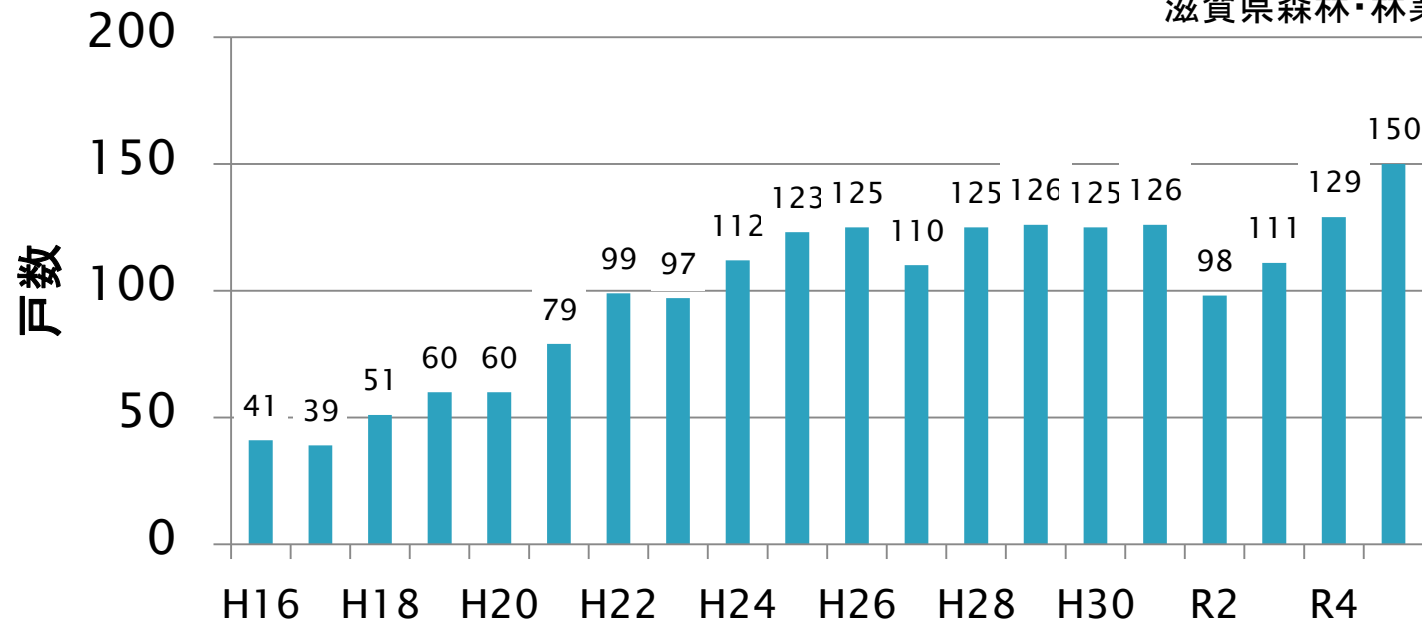


国土交通省「建築着工統計調査」

びわ湖材を使用した住宅の助成戸数

www.pref.shiga.jp

滋賀県森林・林業統計要覧



・地球温暖化と木材の地産地消を進めるため、びわ湖材を使用した一戸建て住宅等の新築や木質化改修等を支援



びわ湖材の利用促進

www.pref.shiga.jp

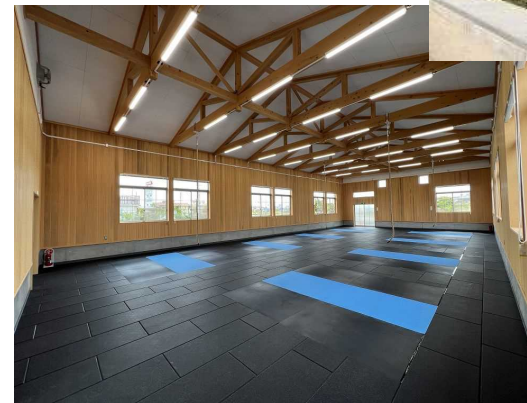
- ▶ 木製品の導入
 - 木製備品の購入支援
- ▶ あらゆる用途への木材利用
 - 公共施設、住宅や民間施設などへの県産材利用拡大
- ▶ その他
 - びわ湖材利用の研究開発



商業施設の木製遊具



民間企業の社屋



安曇川高校ウェイトリフティング場

しが木育の推進

www.pref.shiga.jp

○「しが木育」

木とふれあい、木に学び、木と生活することにより、暮らしと森と琵琶湖のつながりを理解し、豊かな心を育む取組

- ・木育イベント開催等木育の場の確保
- ・保育所等へ木育製品の貸し出し
- ・木の魅力を伝える木育指導者の育成

つながる 「しが木育」 指針



R5.4策定

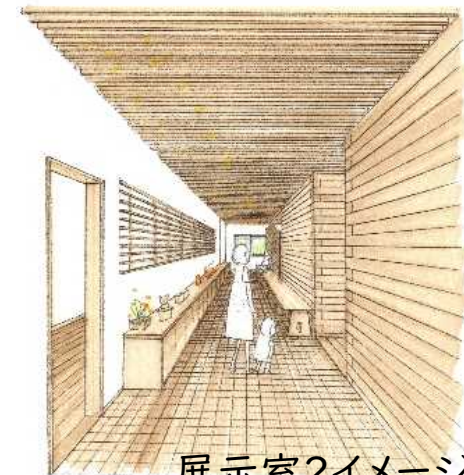
木育拠点施設の整備(2025年春 OP予定) www.pref.shiga.jp

県立近江富士花緑公園(野洲市三上)内
森林のわくわく学習館 (S48~)

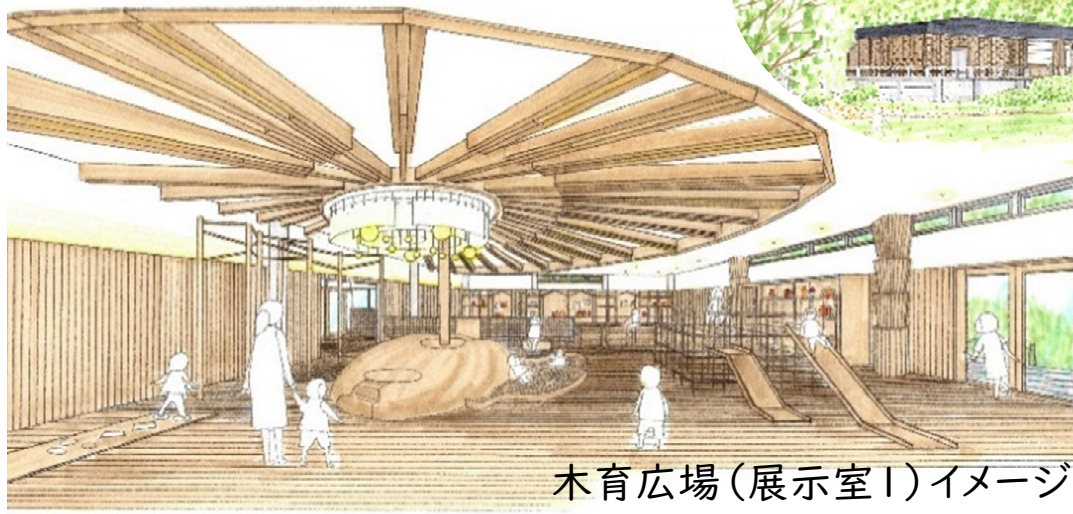
→「木育拠点施設」に改修【令和7年 春】運用開始予定
木育広場、赤ちゃんスペース、情報コーナー、授乳室 など



外観イメージ



展示室2イメージ



木育広場(展示室1)イメージ



エントランスイメージ

対応すべき課題

www.pref.shiga.jp

▶ 見直しの方向性

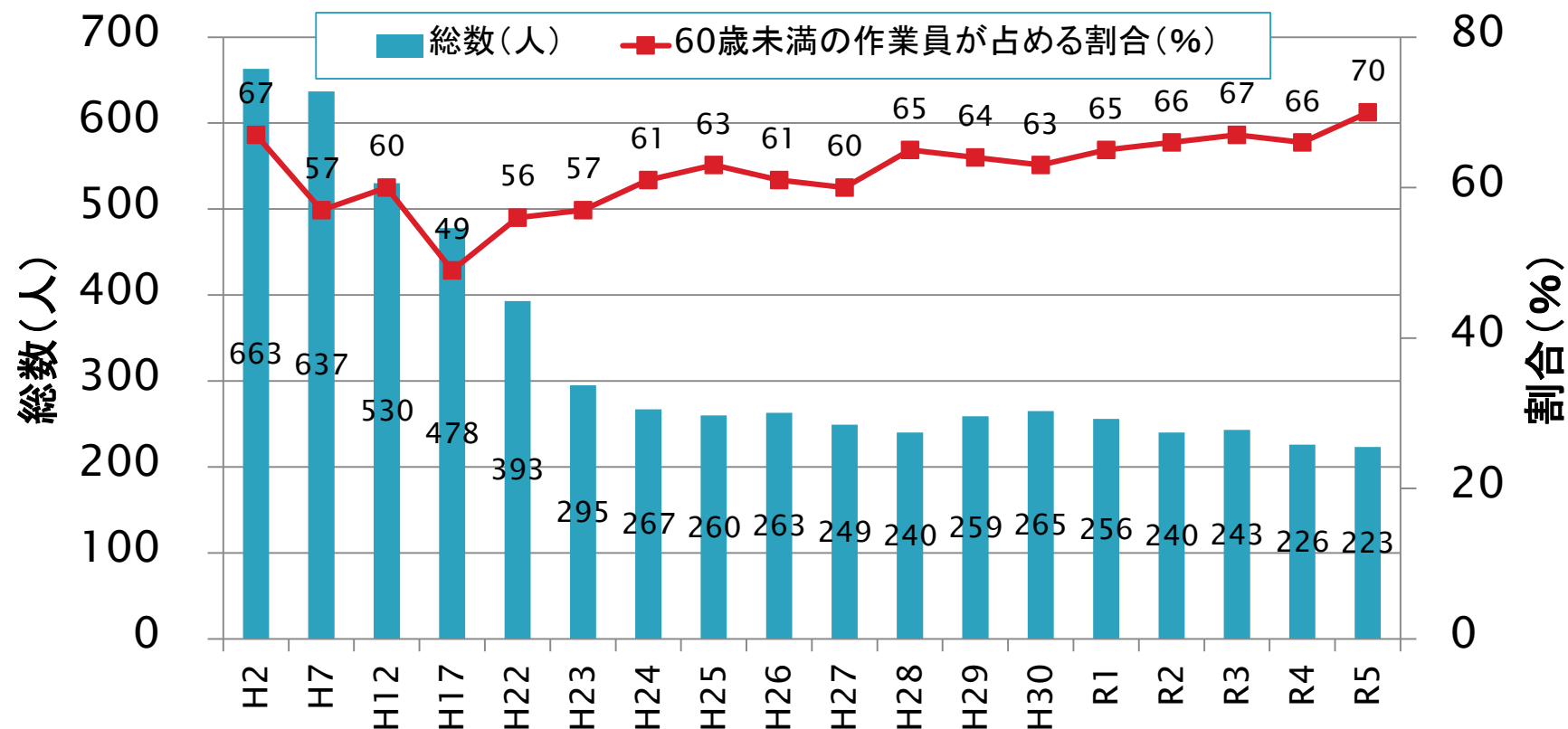
- 航空レーザ測量など詳細なデータやICTを活用するスマート林業の一層の推進
- 森林組合合併を契機とした県産材生産・流通の効率化・競争力強化
- 企業との連携の強化による木材利用の推進
- 木育拠点施設整備を契機とした、木に触れる機会の更なる創出

施策4関連

➤➤ 豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくり

林業従事者の推移

www.pref.shiga.jp

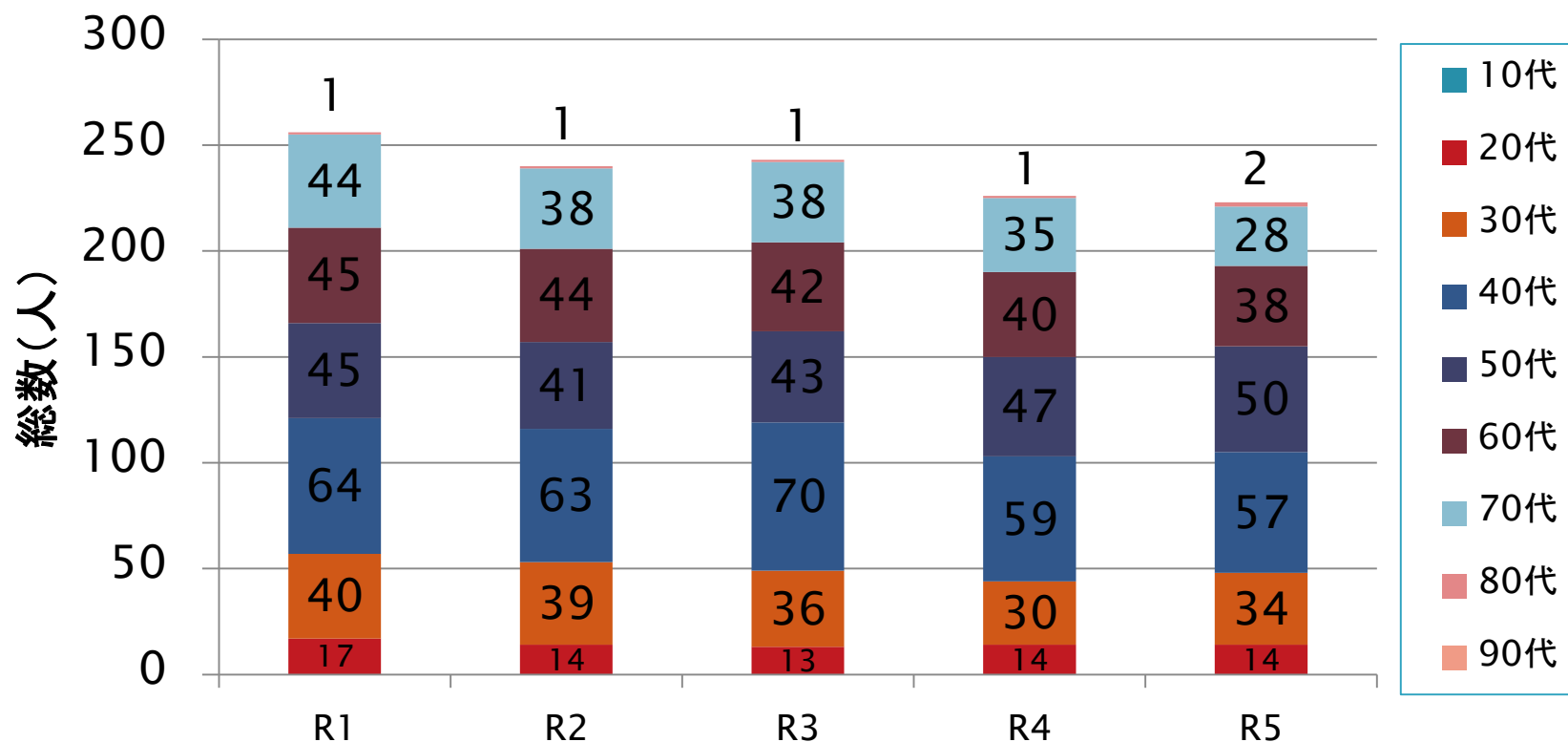


滋賀県森林・林業統計要覧

・林業従事者は長期にわたり減少しているが、若年労働者の割合は増加傾向。

林業従事者の推移(2)

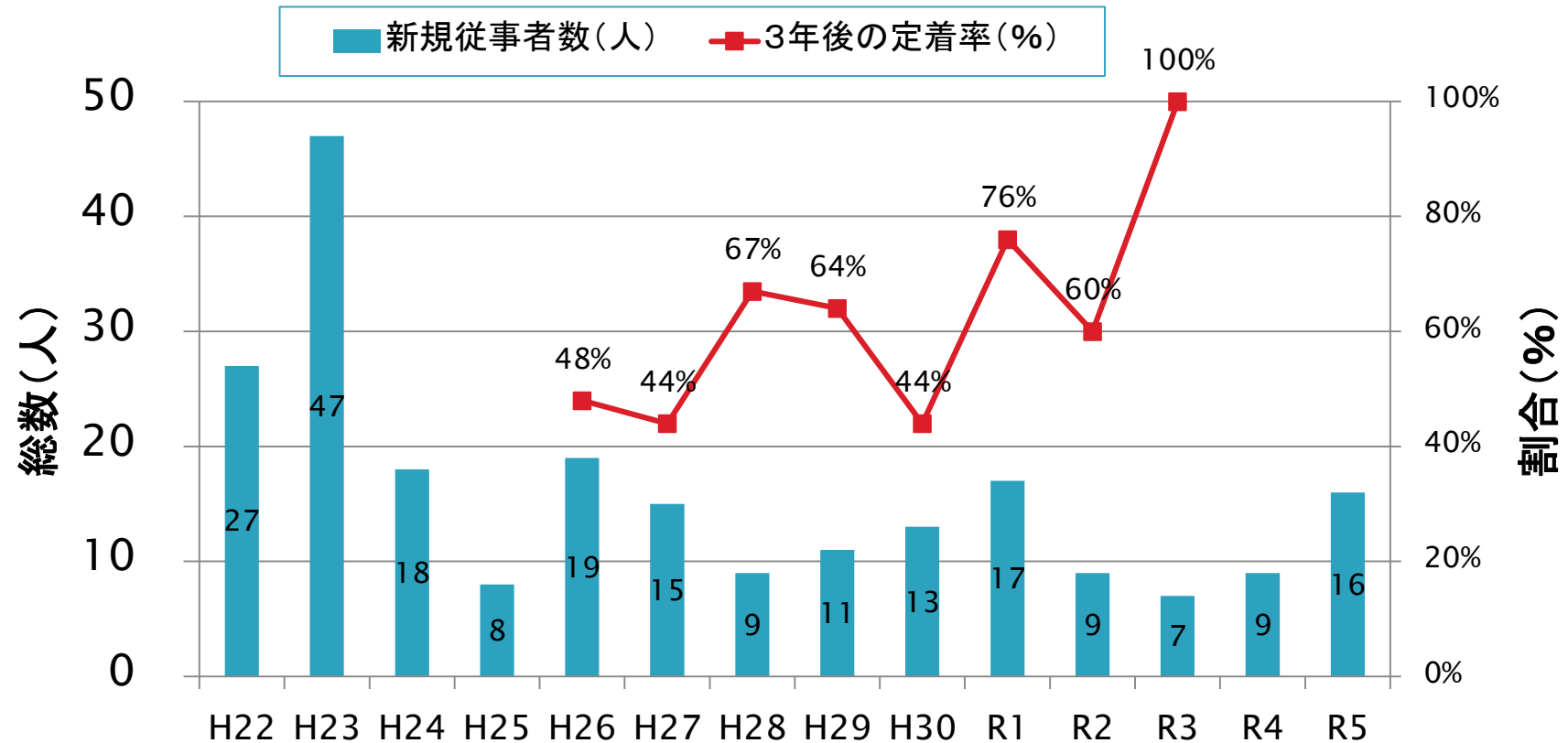
www.pref.shiga.jp



滋賀県森林・林業統計要覧

林業従事者の推移(3)

www.pref.shiga.jp

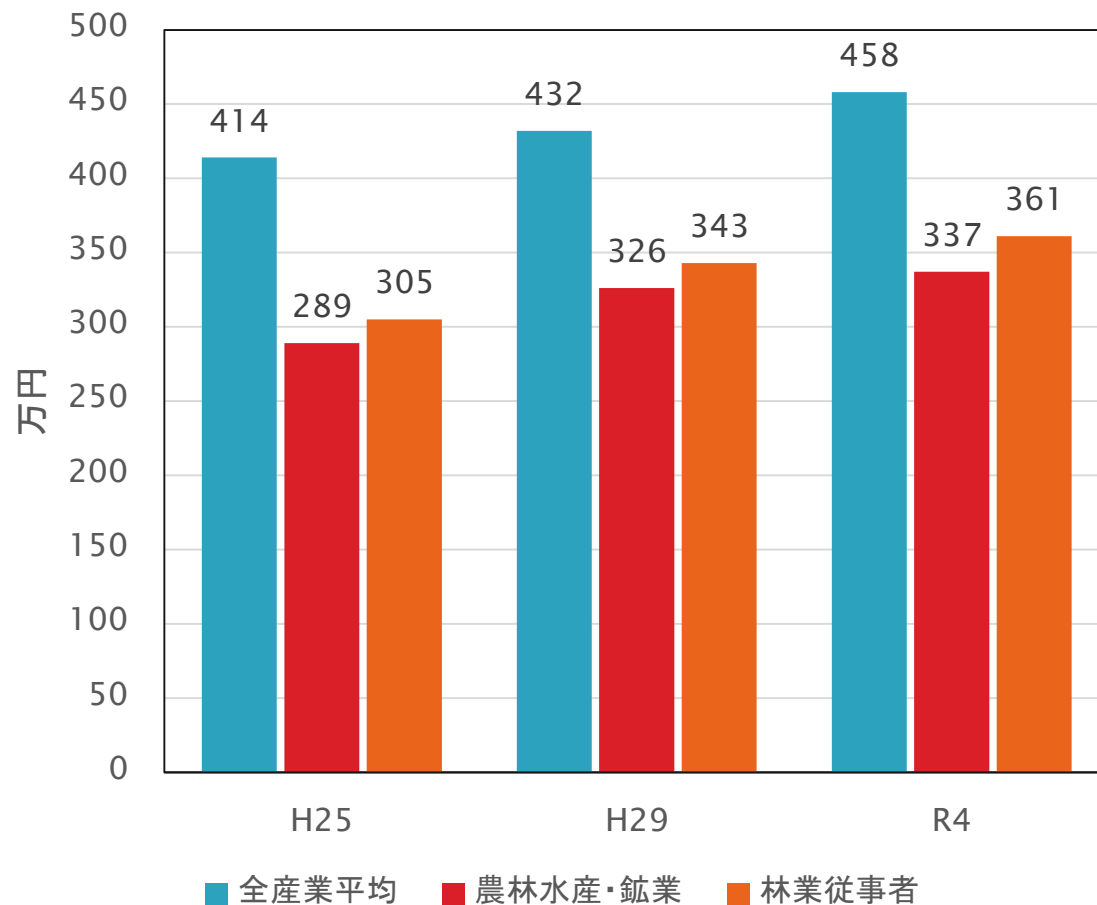


滋賀県森林・林業統計要覧、滋賀県業務資料

- ・「新規」林業従事者は一定数いるものの、定着率はあまり高くない。
 (R2.3月新規学卒就職者の3年後定着率は、高卒63.0%、大卒67.7%
 事業所規模5~29人に限ると、高卒48.7%、大卒50.4%【厚労省資料】)

平均給与(全国)

www.pref.shiga.jp

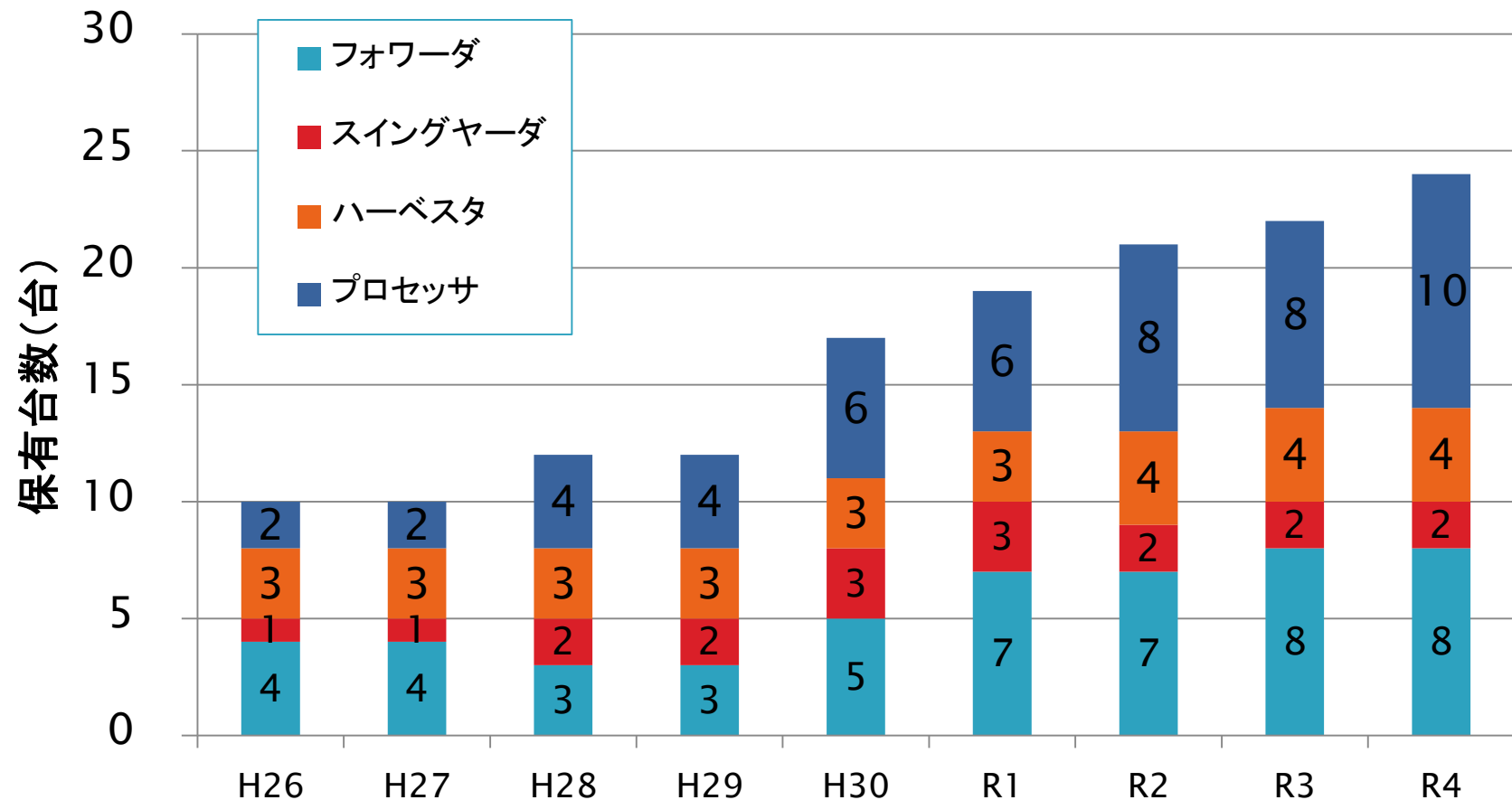


※「産業平均」「農林水産・鉱業」は、国税庁「民間給与実態統計調査」

※「林業従事者」は「緑の雇用」事業に取り組む事業体への調査結果(林野庁経営課調べ)

高性能林業機械の導入状況(滋賀県)

www.pref.shiga.jp



滋賀県森林・林業統計要覧

次代を担う子どもたちへの森林環境学習

www.pref.shiga.jp

○自然を活用した幼児教育・保育を行う団体を
認定する「しが自然保育認定制度」

・・・認定団体数 11団体



○県内の全小学4年生を対象とした森林環境学習
「やまのこ」 ・・・実施学校数 231校

児童数 13,371人



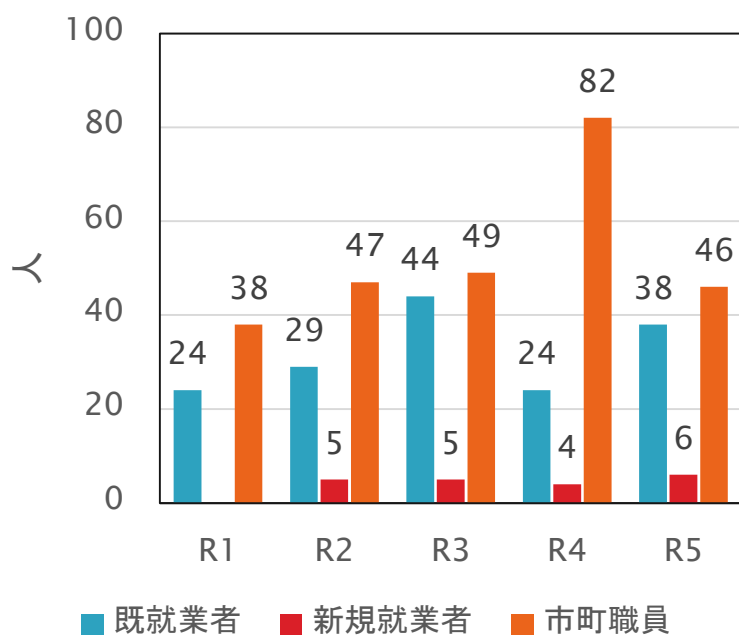
○小学校区等を単位とし、緑の募金をはじめ地域の
緑化・森づくり活動を行う

「緑の少年団」・・・57団体 6,533人



滋賀もりづくりアカデミーによる人材育成

www.pref.shiga.jp



もりづくりアカデミー コース別参加者数
(滋賀県森林・林業統計要覧)



対応すべき課題

www.pref.shiga.jp

▶ 見直しの方向性

- 木材の生産・流通の各段階における人材の確保・育成等の推進（所得や安全衛生の向上を含む）